SHIN SHIN FUJIN

The First Magazine of Woman's Movement in Japan.

新眞婦人

六月號

第十四號

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可大正三年六月一日發行（每月一回一日發行）大正三年五月二十八日印刷納本

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上

學力尋常小學卒業以上

品行方正ニシテ傳染病チ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前

入院診後應需

林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

（電本）八八八（病院用）
八九八（自宅用）

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長　醫學士高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤

院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思想界の炬光

新渡戸稲造先生著

（製本既成）

新刊

折にふれ

●四六判クロース製全一冊　定價壹圓貳拾錢　送料八錢●

本書は是れ新渡戸博士が折に觸れ時に應じてその高遠該博なる思想を洩らせるもの百二十餘篇を收む。蓋し昏惑せる現代の思想界に一大炬火を投與するものたらん。

新渡戸博士著

英文武士道

四六版最上製一冊
定價壹圓送料八錢

新渡戸博士著
櫻井鷗村和譯

邦文武士道

菊判上製全一冊
定價壹圓送料八錢

新渡戸博士著

カーライルの衣服哲學

近刊

東京市麹町二丁目
振替東京七八四七

丁未出版社

賜天覧の榮

◉教育家並一般婦人女學生の座右の寶典!!!

東洋大學講師 田島教惠先生著

（好評嘖々再版發賣）

淑女鑑

維新後社會教育上其効績の最も顯著なる女流十六名を選んで詳細正確なる傳説を輯めたるものにして卷頭の肖像と筆蹟とは謦咳に接する想あらん今内容を擧ぐれば○久我誓圓尼公○村雲日榮尼公○大谷籌子○税所敦子○下田歌子○安達安子○三輪田眞佐子○棚橋絢子○小川直子○跡見花蹊○乃木靜子○喜悦孝子○友田晴子○松岡美和子○奥村五百子○爪生岩子

洋装美本全一册
菊判紙數二百餘頁
口繪寫眞版數葉

定價金六拾錢
郵送料金八錢

最新刊發賣

池邊義象先生撰 小野鵞堂先生書

模範女子書翰文大觀

斯華會編

菊判總クロース製
紙數四百餘頁全一册
定價金壹圓貳拾錢
壹萬部限り特價金壹圓
送料（普通十二錢書留十六錢／臺灣朝支金四十錢）

現今文壇の巨擘池邊義象先生が現代女子に必要なる書翰文例三百餘章を撰び且つ活用を大ならしめんが爲各章毎に類語を集め緊要なる用字を掲げ附するに懇切詳密なる書翰文の研究及樣式を説明し又小野鵞堂先生が揮筆なる樣式數十頁を掲ぐ實女子が書翰文研究の侶伴として唯一無二の寶典也

内容見本進呈

小野鵞堂先生揮筆

小くら帖

定價六拾錢 送料六錢
縮刷廿五錢 送料二錢

草書日用集字

定價五拾五錢 送料六錢
縮刷二十錢 郵送料二錢

發行所 東京市神田區表神保町六番地 文永館 振替貯金口座東京一三五〇番

牧民社新刊圖書

田村俊子氏作
小說 木乃伊の口紅

■彫塑家朝倉文夫氏裝幀■四六判函入三百七十頁■正價金九拾錢郵送料八錢

内容

- ■木乃伊の口紅
- ■線の朝
- ■憂鬱な匂ひ
- ■時雨の朝
- ■ぬるい涙
- ■炮烙の刑

是れ悉く血と涙とを以て綴られたる長篇、あえかなるいのちに泣く近代人の酷烈なる涙の跡を見よ。

田村俊子氏作
小說 戀娘

■津田青楓氏裝幀■四六判函入三百六十頁■正價金九拾錢郵送料八錢

内容

- ■やま子
- ■町子の手紙
- ■さよより
- ■嫁ぐまで
- ■おしの
- ■夏の晩の戀
- ■お豐
- ■秋の一日

- ■拇指の刺
- ■搖籃
- ■姉
- ■或る日
- ■市の晩
- ■戀の手紙
- ■初雪
- ■樂屋

ウエデキンド作■池田極外氏譯
戲曲 此れが人生だ！

■裝幀蕭洒■小形函入■正價金五拾錢郵送料六錢

内容

■第一齣（第一幕）王宮玉座の間（第二幕）森林に沿へる街道の場■第二齣（第一幕）婦人服裁縫師店頭の場（第二幕）法庭の場■第三齣（第一幕）牢屋の場（第二幕）夜間廣野の場（第三幕）乞食市々場■第四齣（一幕）ペルーキヤ市場■第五齣（一幕）王宮玉座の間

（完）

東京市本郷區本郷四丁目四十三番地

牧民社

電話下谷四九四一番
振替東京二七八七五番

六月號目次

口絵　プリン・マウル女子大學校長トーマス嬢
小供と仕事　記者…(一)
手近かな手本　西川文子…(二)
女性主義に就いて　日向きむ…(五)
フレッチヤ主義　柳子…(九)
家庭問題に就ての感想　新渡戸稲造…(一〇)
家庭の立憲的組織　田川大吉郎…(一三)
短歌…(一五)
冷つこい眼　三野村きよ…(一六)
トルストイの戀文（ラブレター）　露子…(二一)
天才の女(三)　高安月郊…(二三)
海外婦人消息　中尾清太郎　(二八)
大森アンニー夫人　柳子…(三〇)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

米國婦人倶樂部の勢力 …(三三)
カシタンカ(完) 瀬沼夏葉譯…(三四)
俳句 …(三九)
婦人參政權論(上) トーマス孃…(四〇)
婦人論八ツ當り 八方醜婦…(四四)
草花利用の廣告 …(四七)
故郷より 有田倭文子…(四八)
大阪の女(吉弘白眼氏夫人) 霜野せき子…(五〇)
避妊に關する思想の變遷 西川光次郎…(五三)
新刊紹介 …(五七)
婦人解放論の批評に就て 文子…(五九)
私信數通 …(六〇)
第六回蛙聲會の記 …(六一)
相談部 …(六二)

六月一日發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

通信教授

和歌新講話

入會者は和歌と習字が上手になる

◎**適切有益なる講義!!**

池邊義象、加藤義清、金子元臣、武島又次郎其他斯道の大家が最も平易明晰に講義せられたるもの、初學者は固より從來斯道を研究しつゝある人にとりても唯無一無二の通信教授なり。

◎**丁寧懇切なる添刪!!**

會員諸君の詠歌と習字とは一々懇切に添刪して速に返付するを以て直接良師に就いて學習せらるゝと同じ。

◎**十箇月にて卒業!!**

學習期間を十箇月とし歌道一通りの事を教授す、講習を了りたる人には卒業證書を交付す、猶二期三期と繼續してその蘊奧を講ずべし。

◎**小野鵞堂先生手本** 毎號挿入

●**規則及見本** 往復はがきにて御申込次第**進呈す**

東京市京橋區新榮町五丁目三番地 **大日本國風會** 電話京橋二九九 振替東京二七三〇一

■東京割烹研究會編纂

家庭 和洋割烹辭典

■四六判箱入美本
■定價壹圓八十錢
■小包料十二錢

△年中料理献立△新年の料理△初午の料理△上巳節句の料理△雛段に飾る膳部△節句客の膳部△お花見料理△觀櫻會の膳部△五月端午の料理△端午御祝儀の料理△盂蘭盆の料理△諸國雜煮餅△今古御前菓子三十題△白米と調味品△汁物の調理法△味噌汁の種△潮汁の調理法△肉類の鑑定法△煮出汁の拵へ方△灰汁拔き方法△注け汁の仕立方法△和汁の仕立方△野菜の切方△魚の作方と取合物△調味加減△味噌漬の仕方と其材料△烹炙秘訣△割烹一般の心得△割烹着手順序△食料品保存法△肉類貯藏法△鷄卵保存法△牛乳保存法△脂肪保存法△野菜類貯藏法△果實貯藏法△飲料保存法△臺所道具の取扱△洋食勝手器具の取扱△洋食勝手器具△洋食食卓器具△女中を使ふ心得△座臥進退の作法△着順序と食事心得△供膳の作法△饗應になる心得△給仕人の心得△ウエター心得△クック心得△物品薦撤の作法△婚禮の作法△大根料理△茄子料理△鷄卵料理△松茸料理△觀菊料理△惠比壽講の料理△七五三の料理△煤掃き料理△年越祝の料理△婚禮の料理△普茶料理△四季料理△卓子料理

和洋に亘つて苟くも飲食せらるべきものは細大を洩らさず、悉く叮嚀に、解り易く説明してあります。すべて「いろは」引きですから至つて簡易に見出しえられます。この辭典一巻さへあれば、ドンな山海の珍味でも、雜作なく出來ます。又諸國のそれ〴〵名物も喰べられるのです。この辭典は實に「食傷新道」です。

■外觀内容に於て類書中の白眉也

發行所

東京市京橋區尾張町 警醒社書店（振替東京五五三）

東京麴町有樂町 報知社出版部（振替東京七三八）

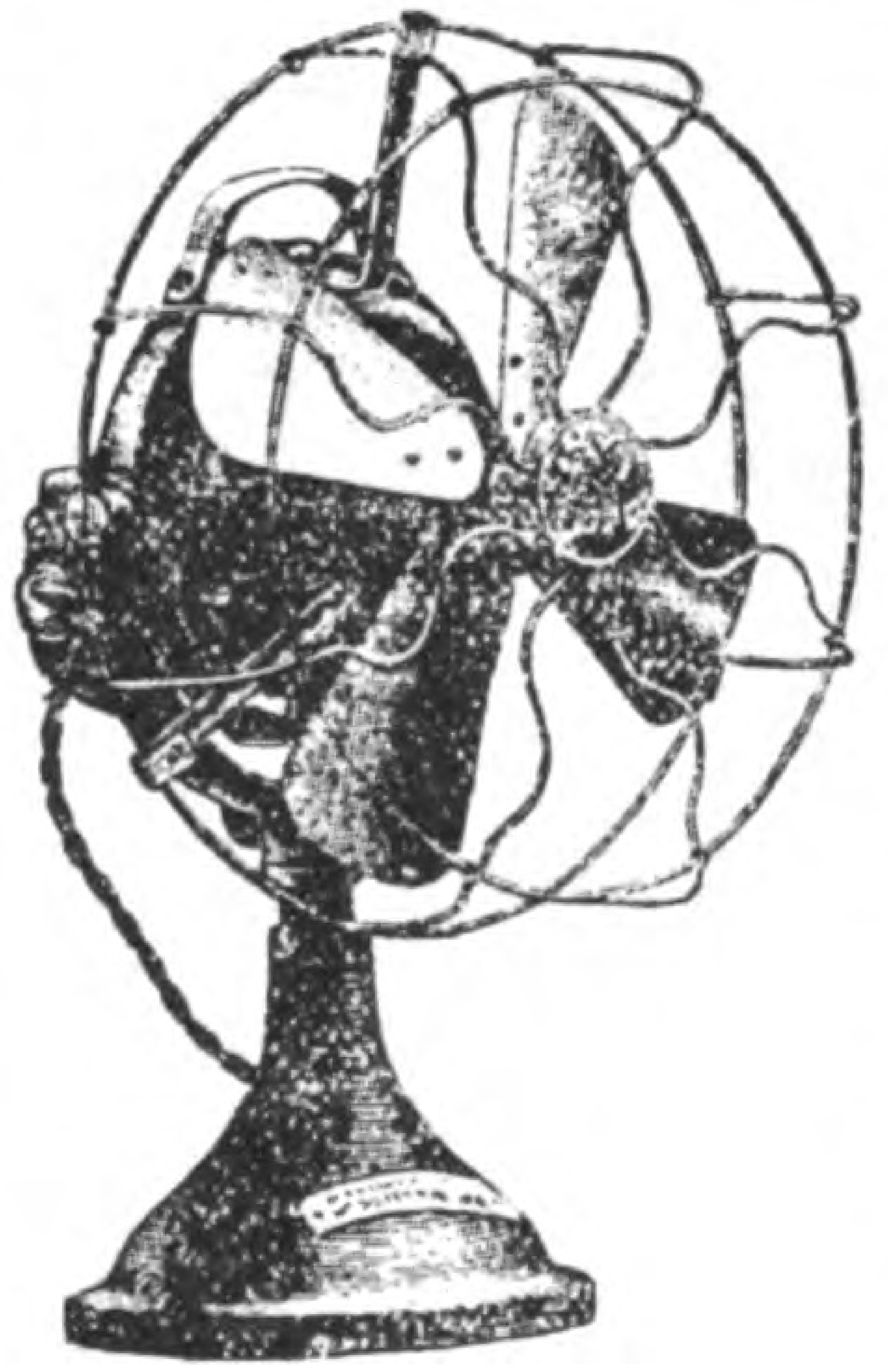
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

電氣扇

B.K.

新案第二九一九三號
特許第三一二五七號

●壹臺ニテ貳臺ノ用ヲ便ズル特色アリ



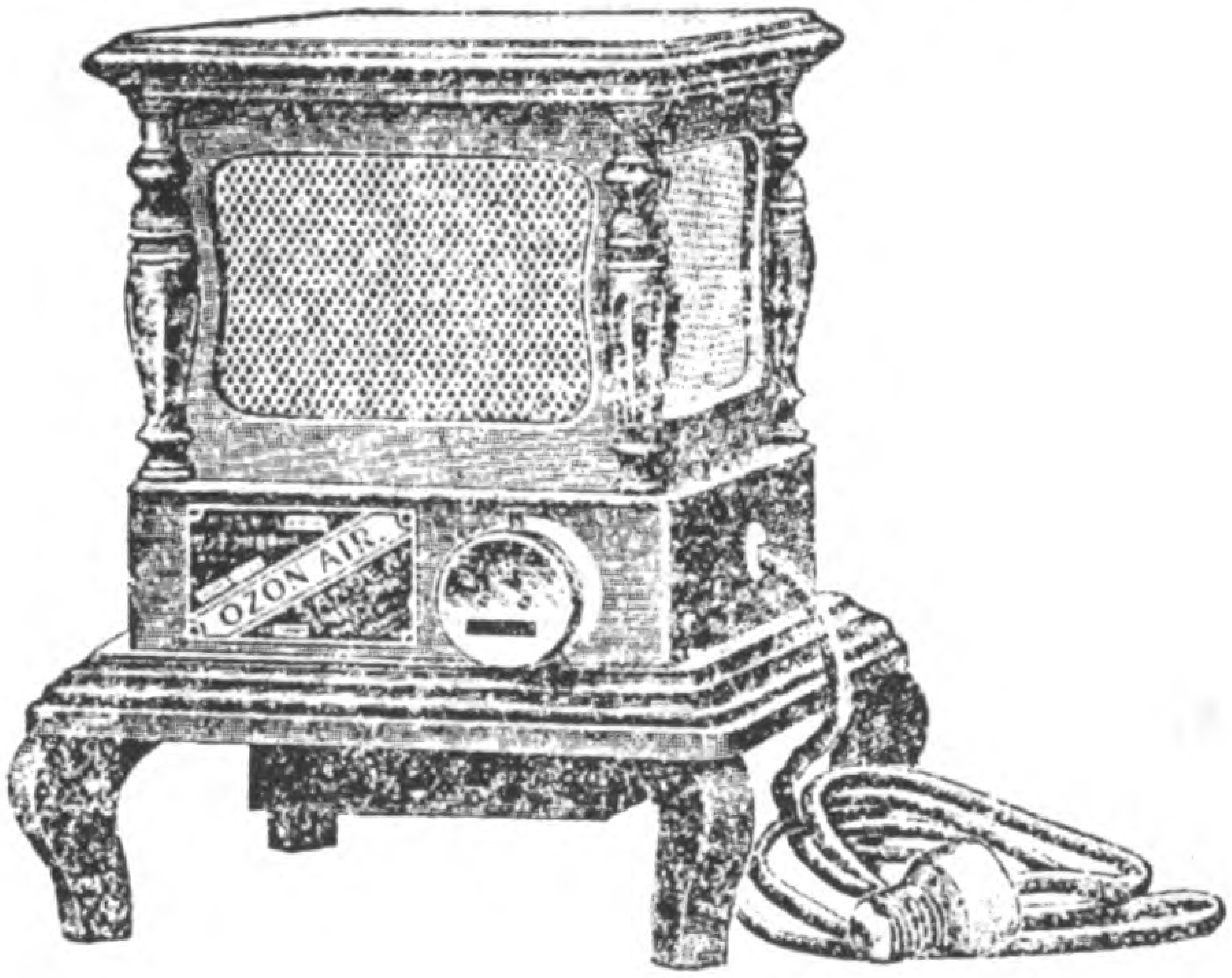
▲月賦販賣、貸付仕候
（目錄進呈）

●本店（東京市京橋區尾張町二ノ一丁目
電話新二四二二番…振替口座東京一八四七三番

●支店（大阪市東區心齋橋筋博勞町南入西側
電話南二二〇五番…振替口座大阪七三四四番
横濱市吉田町一ノ二九……電話一九三一番

特許

オゾーン發生機



●健康ヲ増進スル唯一ノ方法「オゾーン」ヲ吸入スルニアリ

●本機ハ室内常用ノ電燈線ニ連接シテ單ニ開閉器ヲ一轉セバ「オゾーン」ヲ放散シ滿室ノ空氣ヲ清淨ナラシメ諸種ノ呼吸器病及肺病等ニ偉大ノ効果アリ

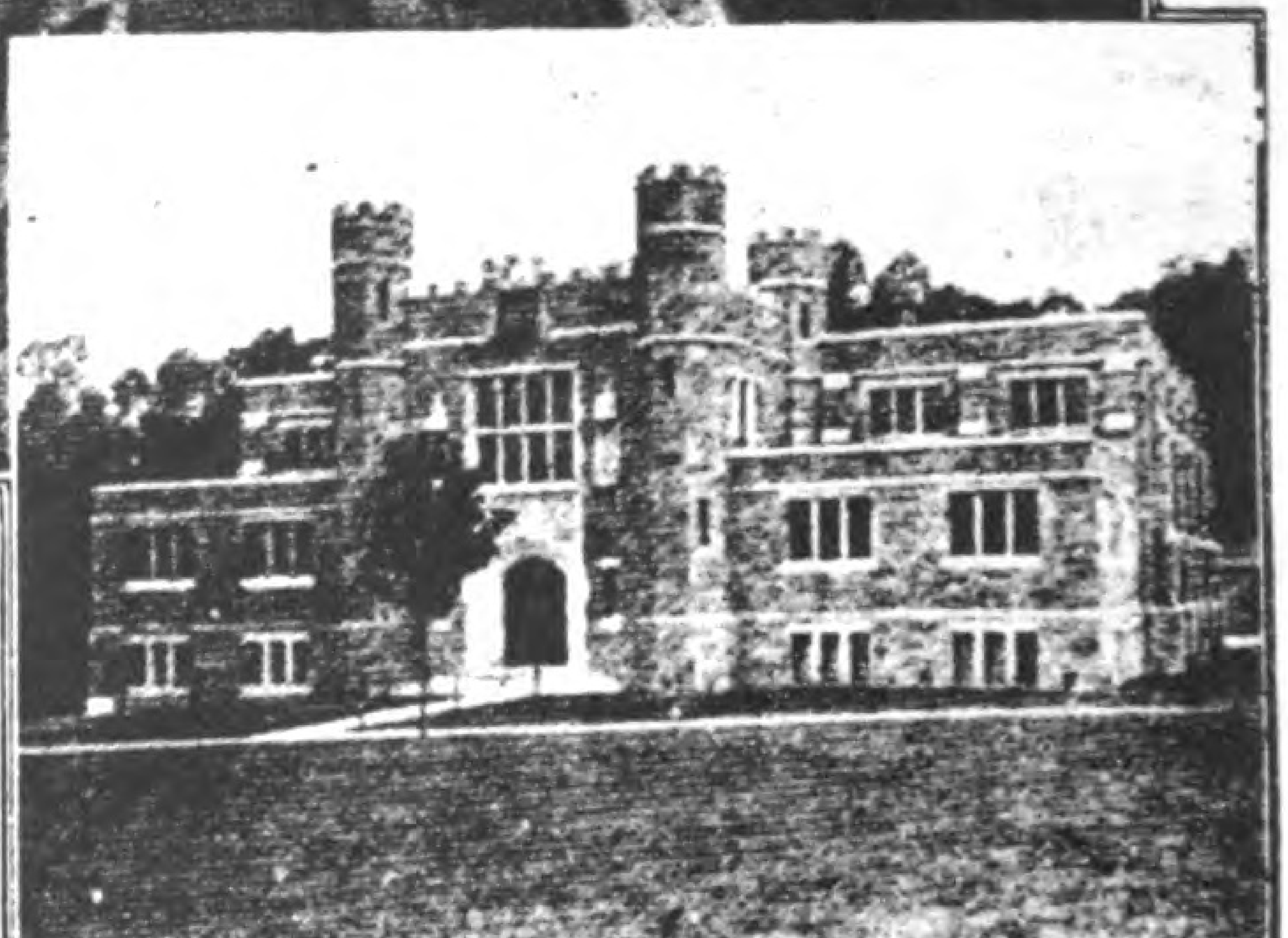
説明書進呈

サンデン電氣商會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同大學校長トーマス孃

（婦人參政權論四十頁參照）



ブリン・マウル女子大學校の一部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

(忽再版)

東京女子醫學專門學校長
東京至誠病院長
吉岡彌生先生講述

婦人の衛生 附育兒法

婦人の缺くべからざる生殖器衛生を疎にし爲めに己が身體の處置に苦み恐怖すべき病氣をも輕々看過し遂に貴重の生命をも失ふが如き悲しき事少しとせず女醫界の泰斗吉岡先生深く此缺陷を嘆じ茲に其多年の蘊蓄を傾け最も平易懇切に一般婦人の衛生を講述して本書をなす其說く所處女時代の衛生、月經時の衛生、妊娠認定法、妊娠中の衛生、分娩時の衛生、産褥中の衛生、早産流産の衛生、産兒の取扱方、斷乳の方法、衛生を主とする育兒法、婦人病の衛生、婦人と生殖、主婦の衛生、衣服の衛生、四季婦人と小兒等凡て二十六章數百節、殆んど婦人の心得べき生理衛生の智識を網羅して餘す所なし本書一度出で一般婦人の幸福幾許ぞ

四六判洋綴美顏帳裝本
紙數三百餘頁寫眞挿入

定價 金七十五錢

送料 内地金八錢
臺灣樺卅錢

婦人の生命 ——は美容に在り

新式婦人の化粧

▼美顏術本舖

理容館主 遠藤波津子
同理事 小口美知子 共著

美容は女の最大の寶であります本書は我國美顏術の開祖として多くの御婦人方から崇敬せられつゝある遠藤先生と其高弟小口先生が多年の經驗に基き最も完全有効な化粧法をお述べになつた者で從來の化粧法の驚くべき誤を指摘し家庭に於る美顏術實行法を說き春夏秋冬晝夜寒暖等に依り人樣々に異る化粧の法を頭から爪の先まで殘る隈なく說き明し尙特にお嫁入の化粧法をば委しく述べてあります本書は實に本邦唯一の美顏術秘傳書として如何なる御婦人にも御一讀をお勸めいたします

四六判形美本
口繪寫眞挿入
廿有餘版

定價 六十五錢

送料 内地六錢
臺朝十二錢

發兌 東京市神田區西小川町二ノ三 明治出版社 振替東京三九三四

結核肺病の豫防及治療新藥

パスルトーゼ

醫師岡崎桂一郎氏發見

本品は一種の類蛋白質にして其主成分は最近實驗醫學に於て結核を豫防し又治癒せしむべしと喧傳せらるゝカルウチム鹽の有機性抱合物にして多量の酸素二十七%餘を含有し能く血管壁の滲透性を減じ滲透液の成生を防過し血液の凝固性を促進し組織の塡合質を増重強固ならしむ消炎止血滋養強心、鎮痙、利尿、奪鹽等の效驗ある等の具有なせり其適應症の二三を擧げんに

說明書送呈仕り候

(一)潜伏性結核及結核(肺病)の初期 結核の遺傳あるもの、結核に罹り易き素質の人の常用すべき良藥なり(二)漿液膜 肋膜炎、腹膜炎、等に特効あり 心臓病、急性腎炎(三)出血性諸疾患 喀血、吐血、衄血、下血等 月經過多症姙娠、産褥、腸窒扶斯赤痢等(四)熱性病(五)皮膚病 蕁麻疹、性濕疹等 眼球の炎病性疾患(六)神經衰弱、胃腸障碍(七)重病の恢復期等

發賣元 東京市麻布區笄町 口座東京七八五〇 宮崎南信堂

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

銀座一丁目河岸通（電話京橋八一五 八一六）

帝國貯蓄銀行

飯倉支店　飯倉三丁目
赤坂支店　赤坂表町
四谷支店　四谷大通り
本郷支店　本郷一丁目角
神樂坂支店　牛込神樂坂上
吾妻橋支店　淺草花川戸
須田町支店　神田須田町
米澤町支店　兩國米澤町
品川支店　南品川一丁目
橫濱支店　橫濱吉田町
代理店　日本橋坂本町　田中銀行

◎一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候◎毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

株式會社

東海銀行

本店　日本橋吳服町
堀江町支店　日本橋堀江町
本郷支店　本鄉三丁目
赤坂支店　赤坂田町
本所支店　本所龜澤町
京橋支店　京橋尾張町
三田支店　芝三田一丁目
淺草支店　淺草並木町

杏雲堂病院
樂山堂病院
育兒會病院
田端腦病院
帝國大學醫科大學病院
橋爪病院
駿河臺病院
土田病院
小林眼科病院
小林耳鼻科病院
木下病院

○樂牛園
牛乳販賣部

○牛乳は樂牛園に限る

○市内ハ遠近ニ拘ラズ
迅速ニ配達仕候

產婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衞生園 產婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

產婆部 大崎支局

◉近來粗惡なる類似品を製作販賣するもの有之候間
よく〳〵共盛社に御注意あれ

最近新式

陶玉萬年筆
人造水晶筆

定價

特別甲號 箱入	壹本 金貳拾錢	壹打 金貳圓
特別乙號 箱入	壹本 金拾錢	壹打 金壹圓
普通	壹本 金五錢	壹打 金五拾錢

一抑も此筆は理學的最新發明品にして學理の應用實地研究の結果製造したる便利と經濟とを兼備する新發明品なり

一此筆は和洋紙を問はず簿記又は細字圖引等には使用輕便自由自在にして從來使用し來れる（ペン）先烏口等の遠く及ばざる所なり

一此筆は使用後洗容易なるが故に壹本の筆にて諸色（インキ）墨等を取換使用し得る便利を有す

一此筆は金屬質と異なり如何なる（インキ）墨を用ゆるとも筆先の腐蝕及磨滅する恐更になし以上の特色を有するが故に發賣以來非常の好評を博しつゝあり江湖の諸君是非御試用御用命賜はらん事を

發賣元

東京市淺草區駒形町四十三番地

合資會社 共盛社營業部

電話下谷六千十九番
振替口座東京七二四三番

◉取次販賣又は行商望の方は本社又は特約販賣店に申込あれ
◉本社へ照會は（往復はがき）に限る

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

神田產婆看護婦會本部

神田助產所

東京市神田區裏猿樂町六番地
電話本局千五百三十七番

一神田助產所は遠近を問はず往診、宅診。入所分娩の時は分娩迄、食費丈。分娩後は尤も輕便に特別、實費。理由ある方は施料

一看護婦は遠近に拘らず迅速に御用命に應ず

東京市麹町區内幸町一丁目三番地
電話新橋長二二〇〇、二一〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇〇番

太平生命保險株式會社

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 内野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫

取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信一郎
監査役 中田敬義

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理想的の改良香油

本品は時代の要求により生れたる最善なる香油です

花つばき

花つばき

本品に優る香油は現代に於て未だ曾見せしことなし

壹瓶 四拾錢

三個箱入 壹圓廿錢

東京新橋出雲町角 **福原資生堂** 電話新橋三二四番

新眞婦人第十四號

小供と仕事

◎健全なる小供には、餘つた精力があつて、ソレが常に出口を求めて居るものです、之れに出口を與へつゝ適當に導いて行かねばならぬ。

◎小供の前に立て、アーしてはいかん、コーしてはならぬのと、止めてかゝらないで、後ろから見て行て、何んでも思ふまゝにさせなさい、而して危ない場合や、間違つた場合にのみ止めなさい。

◎更に又、小供は大人の眞似をして仕事をもしたがるものですから、之れをもさせなさい、例へば四五歳の時分ならば、坐蒲團を持て來させたり、筆や墨を持て來させたりする、七八歳にもなれば手紙位は入れにやる、十歳位になれば、男の子は少し遠方へでも使にやつたり、女の子ならば臺所の手傳ひ位をさす、庭に草花を作る手傳ひなぞもさす、此の間に小供等が學校や書物で敎へられぬことを、ドレ位敎へられるか知れぬ。

◎ソレに親子が一緒に草花でも作ると云ふ樣なことが、ドレ丈け親子の間を親密にするか知れぬ、而して之れが親子相互の精神の爲めにドレ丈けなるか知れぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手近かな手本

西川文子

年齢の故を以て失望すること勿れ

私共十七八歳の時には、二十五六歳で有名になつた人の傳記が特別に私共を刺激しましたが、自分が二十五六歳を過ぎてからは、モウ其人の傳記は、私共に用のない様な氣がします。只今では三十五歳で世界的に著名な人物となつた、監獄改良で有名なフライ夫人や、四十歳で世界的婦人となつた『アンクルトム』の著者ストー夫人の傳記が、特別に私共を刺激します。之れから又十年、二十年、三十年も立つて、ダンダン老人の仲間になると、七十歳の頃まで何をして居たか分らぬ太公望の様な人の傳記が特別に私共を刺激するに至るかも知れない。三十歳までに仕事をせねば駄目なものとせば、三十を過ぎて、まだ不朽の事業を世に遺さぬものは、モウ絶望であり、四十歳までに仕事をせねば駄目とせば四十を過ぎてまだ之れと云ふ事業を爲して居らぬものは、之れ又絶望せねばなりませぬが、サウとは一定しないから、人生が面白いので、二十歳で有名になつた人もあれば、三十歳で有名になつた人もあり。四十で有名になつた人もあれば、五十で有名になつた人もあり。又六十で有名になつた人もあれば、七十で有名になつた人もあります。

境遇の故を以て失望すること勿れ

年齢と同じく境遇も一定して居ないから面白い。貧乏に生れたものでないと、不朽の人にはなれぬものとせば、富家に生れたものは絶望せねばならず、又富家に生れたものでないと仕事は出來ないものとせば、貧

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

乏に生れたものは失望せねばならぬが、サウでないから面白い。

夫に死なれてから有名になつた婦人が隨分と多い、夫の生存中、家庭の人としてしか知られざりし婦人で、夫の死後、或は女俳人として、或は女の歌人として、或は女畫師として、又或は女の實業家として有名になつた婦人が隨分と多い。例へば加賀の千代は二十五歳にして夫に死別した女であり、丹波の捨女にしても、伊勢の園女にしても、若くして夫に死別した人であります、和歌で有名な京都の蓮月尼なども、三十一歳で夫を喪うた婦人であります。されば未亡人になつたからとも失望すべきでない、反て發憤すべきであります。と云つて夫のある中は、有名になれぬか、仕事が出來ぬかと云ふに、必らずしもサウではない。

例へば前號にも一寸紹介した、米國奴隷廢止運動に貢献する所、何人よりも多かりし『アンクルトム』の著者ストー夫人の如き、貧乏な神學校の敎授の妻として、七人の子の母として、貧と戰ひつゝ、其の四十歳になるまでは、殆んど全く臺所と育兒の事にのみ沒頭して居た婦人であるが、一度び『アンクルトムのキャビン』と云ふ奴隷物語を發刊するや、夫人の名は忽ちにして世界的となりました。

又監獄改良で有名なエリサベス・フライ夫人にしてもサウで、夫人は千七百八十年の五月に英國のノーウイチで生れ、其の十九歳の時に倫敦の商人ジョセフ・フライ氏と結婚されたのである、夫人は結婚前より其の父母の宗敎たるクエカーの熱心な信者で、敎會の爲めに働かれ、又近隣の貧民に同情して、此の憐れな人々の爲めにも盡されて居たが、結婚後、倫敦へ行てからも、相變らず、都合のつく限りは、敎會の爲め、貧民の爲めに盡されて居ました。併し夫人は其の三十四歳となるまでの間に七八人も小供を生み、從て家事が多忙なので、思ふ樣には宗敎や貧民の爲めに働けんでした。ソコで社會的の婦人としてはまだ左程著名でなかつたが、其の三十四歳の時に敎會から依賴されてニユゲートの監獄を見舞つたのが元で、夫人は一年に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して世界的に有名な婦人となりました。夫人は監獄を見舞うて深く心を動かし、囚人教育と云ふことを思ひ立たれたのです、初め當局者は夫人の此の思ひ付きを冷笑し、囚人に聖書を讀み聞かせる、監獄内に學校を拵へる、ソレが何んになるか、失敗は請合であると取合はなかつたが、夫人の熱心にまけて兎も角許可丈けはして與れた。で夫人は早速始めた、スルト忽ち之れが評判になつて、四方より奨勵の手紙來たり、又四方よりフライ夫人に倣はんとするの婦人が續出するに至つた、斯くて夫人は世界的に有名な婦人となつたのであります。

貧乏で、小供が多くてお困りの御婦人方は、ストー夫人やフライ夫人を手本として發憤せねばなりません

手近かな手本

斯く年齢の上から云つても、境遇の上から云つても、人の成功に一定した所がありません。而して自分に最も近い年齢の人で、自分と同じ境遇と戰ひつゝ成功した人の傳記が最も私共を刺激し、自分の年が進み、又自分の境遇が變ると、從て手本にすべき人物が變ります。私は此の頃、ソコに大切な意味のあることを發見しました、即ち私共の樣なツマラヌものでも、ヨリ眞實な生活、誠實な生活を送ることに努力すれば、ソレが私共と略ぼ同じ年齢で、略ぼ同じ境遇にある方々に何者にも優りて善き手本になり得るのです。

不忠實な人

手近かな手本に目をつけず、ボンヤリした人物崇拜で日送りをして居る人は、自己にも自己の周圍にも不忠實な人であります。

社會の爲めとか何んとか云ふことを、直ちに自己に不忠實な人と思ふ人がありますが、ソンナことを云ふ人は大抵漠然たる人物崇拜や、空理空論に沒頭して居る人で其の實生活を見れば、反て自己に不忠實な生活をして居るものであります、眞に自己に忠實な人は、自然目につく自己の周圍のことにも忠實で、手近な改良、隣人のことを思はずには居られないものであります。

私共は手近かな手本から學ぶ所あると共に、又自から手近な手本となる覺悟をして居らねばなりません

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女性主義に就いて

日向きむ

米國のブライアンは銀價本位論と云ふ筒井づつの戀の爲にいつも中原の鹿を逸する、あなたも女性主義に心中立をしてゐるうちは到底徹底する事は出來ない、新らしい者にはなられない。そんな衣裳はかなぐり捨てゝ赤裸々にならなくては間にあはない最早そんな世の中ぢやないのですよと或友は顏を見せないで聲だけで私にさう云ひ聞かせた『私は新らしくなりたいと別にいひやしません、女性主義とは衣裳ではないのです全然裸體の丁度大理石の彫刻の女の頸や肩や腕や腰のあたりにみる細い柔かな線の樣なものなのですよ』と私は物怖ぢする子の樣に小さな聲で答へた。而して又赤裸々になつた姿が醜いと信じてゐる位なら女性主義なんていはないで『そんな事は私たちがふるくからみんな百も知つてゐるたゞ損をしてまで口に出さないばかりですよ』と冷笑してゐる婦人たちの中に入つて居りますと、獨語した。

女性！女性！何といふ優しい響であらう、何といふ姿のよい字であらう、誰が何といつても私の女性に對する嘆美と信愛の念は動かない。風にさへ中絶える虹のかけ橋の樣にふれゝば消える露の樣にいへばなくなる女性の力は何といふ美くしい微妙なものなのだらう、微妙とはむくつけなものにはかくされた天の幕屋の合ことばである、男尊女卑とか女尊男卑とか子供らしい兄妹或は姉弟喧嘩を慈眼にみつめてほゝゑんでゐる造物主に不公平や偏ぱな仕方のない事は間違ひはないけれどもその各受持ちを定められた、ちはやふる代の曉に於いて、そよ吹く風に長い黑髮をなびかせながら、紫紅を染め分けた東の空から流れだす薄明に山を下ら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

うとする時、默つて歌へと何やら神から歌を敎へられた、それ丈は神の『尊い自由の意志』によつて女性の受けた唯一の光榮であつた。理想の女性の概念は母である、賢母良妻主義とは、時に後れた、敎育家の旗じるしだと聞いた事がある、然りスリーヴのふくらみや女帽子のつばの形の樣に間もなく次にうつゝてゆく新流行ではたしかにない。けれどその母とは、自然の中にどつぷり浸つて落着いて樂々とたゞ子孫を繼續させてゆくといふ事ばかりに用ゆる名をさしたのではない、見ゆるもの見えざるもの有情無情の母といふ謂である。元始神から傳授されて、あるものは節をくづしあるものは胴忘れをした、その歌はこの『たらちねの歌』である、中には色彩も音律も芳香も生命もあつた、母は女性の權能である、誇りである光榮である、聖母マリアをはじめとして稚兒を抱いた姿のいかにも女性にふさはしいのは、その靈のはたらきの美くしい象徵畫だからである。あげあしをとる人曰く、心靈に男女の性はない筈と、しかし此世の不完全な字や言葉が科學的哲學的に、それほど深いあるものをこめても語つてもゐないとすればそれに一々定義をあたへるといふ事はむづかしい、強いてつきつめれば徒らに複雜にばかりなつて何も摑む事は出來なくなる、事實の經驗と直覺によつて感じた事は又他の人が經驗と直覺によつて解けばわかる。男性女性といふ事が萬一せまい意味になるなら陰性と陽性でも甲と乙でも白と黑でもAとBでも何でもかまはない生養育の三つのはたらきを、愛に包んだ片方が、他の精神と結ばつて到る處に創造の（あるひは發見の）歡喜を實現してゆく靈の名を私は母とよぶのである。生養育は三位一體の愛の神の姿である、私たち女性は是より以上の何を望むのだらう、此特權此光榮にかへてとるほどの何物も世界には存在しない。或る人はそれは机上の理想論だといふ、然り理想論である、理想であるから努力によつて實現出來る論である、母たる要素は健康なる精神とみがゝれた智力と才能と、義と愛の美くしい心の姿である萬物の母をもつて概念とする女性主義は優美な柔かな愛らし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い、微笑の樣な希望に滿ちた主義である、けれども優美と云つても華やかな色ある着物を着る事ではない柔かと云つても面はゆげな一種の嬌態を作つてなよ〳〵する事ではない、愛らしいと云つても意味もなく人に媚びて笑顏を作る事でもない。使命からいへば最偉大な嚴肅な勇敢な不屈の主義なのであるから勝利の悲哀にも堪へられる程の强さがなくては叶はないのである矛盾の樣に聞えても是は決して矛盾でない、强と弱とから極端と極端のものを女性がひとりよく調和してみせてゐるのである、私たち女性が今權威のない生活をしてゐるのは經濟的に獨立出來ぬからではなくて獨立の精神がないからである。結婚が危險なのではなくて、相互の理解と聖い愛がないからである、女が外に職業を持たぬからではなくて自分の中にある寶のつかひかたを知らぬからである。富めるものにひがみは少い、與へてゐるものは應揚である、私達は常に應揚であるべき爲に內を充實させなければならない、しかも先の望むもの（無意識にでも）で滿ちてゐなければならない、人は相互に自分にないものを他に求める求められるものを用意しておかなければあたへる事は出來ない嗜好と趣味は人各々異なつても靈の要求は一つである男が外にはたらくのはせめてもの心やりである、自認の爲である唯一の權能である、それをも奪つてしまはうといふ女の貪慾を神はつまはじきしないであらうか過ぎたのは及ばないのと同じ事であるとさへ女自らが考へる樣であつたらおつりもとらずに金を投げ捨て丶しまう樣な輕々しいくはだてをしていたづらに疲勞と敗北と侮蔑と嘲笑と憎惡とを得る樣な、不經濟な損な事を私たちはしなくなるに違ひない。

人間はそれがあらはれてゐてもかくれてゐても持つてゐる質と量に對する丈の配當しか受けとれない。多くはしいものは質をたゞし量を增す爲に努力するより道はないのである、私たちは勅任官の椅子よりも參政權よりも先眞善美の入つてゐる寶藏の鍵を手に入れなければならない、その中に嘗つて失つた自由と自然と生命の三種の神器も入つてゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

むかし白河院が西河に行幸して詩歌管絃の三舟を浮べ其道の人々をわけてのせた時經信卿遲參して汀にひざまづきどの舟なりとよせ給へと云つた、といふ事を思ひ出す。社會の大河に今浮べられてゐる舟の數は川びらきの夜の大川のそれに劣りはしない『どの舟なりと』とは云はれぬまでも詩歌音樂の三舟に加へて文學美術哲學宗敎醫學の舟のともぐらゐには傍聽者としてなりとのれる程の興味丈でも持ちたいものである、政治經濟其他の舟にふなばたよせて移るにしてもまづ先の八艘が女の手ぢかにあると思ふ、女性主義は不權識な主義ではない。男に媚びる主義ではない。西洋劇の姫君のある優美な態度の樣に感じのよいしかも花園の蜜蜂の樣に活動的な生産的な極自然な主義である、彼のキリストが宮潔めの時、繩の鞭で牛や羊を追ひ出し、鳩を賣るもの丶腰かけを蹴倒したのが愛の心に反してゐない限りは、權威と生氣に矛盾する主義でないのもおのづから明かである、それで充分深刻である、深刻とは生活に追はれて苦しむ事でもなければ所謂自由戀愛に煩悶する事でもないと誰やらが云つたのに私は同意を表するものである、終りにのぞんで私は先刻から幾度か用ひて來た主義の二字とつい云ひ過ぎた言葉のかたさが私自身の唱へてゐるものをこわしはしないかと恐れてゐる。

おぼつかないはねばわかずいへば消ゆる
女のみちをいかにゆかまし

此の頃の自然

先日龜井戸へ遊びに行つて歸りに江東橋まで彼の小さな川蒸汽に乘りました。折りしも滿潮で、岸近く青々と茂て居ろ茅の首まで水がとゞいてきました。夕暮に川蒸汽で滿潮の小川の中を走る、私の氣分はモウすつかり夏になつてしまいました。

此の頃の夜の散歩位、氣持のよいものはありません、若葉の下の夜道を散歩しながら、遠くに鳴く蛙の聲を聞くなぞ、何んとも云へぬ、いい心地ぢやありませんか。

深更、眼をさましますと、杜鵑の聲を聞くことが出來ます、此の頃の夜を寢て了ふのは、實に惜しいものであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

フレッチャ主義

（消化不良者への福音）

◎米國にフレッチャと云ふ人あり、今より三十五年前其の人四十歳の頃には、其の身體頗ぶる虚弱で、保險に這入らうとしても、這入れなんだ位であつたが、色々と考へて、一個の方法を案出し、遂に其の身體を無類の健康體たらしむるに至つた。

◎其の方法は左の如くである。

(1)空腹を感じたる時の外は、斷じて飲食すべからず。

(2)心地悪しき時、若しくば怒れる時は、飲食すべからず。

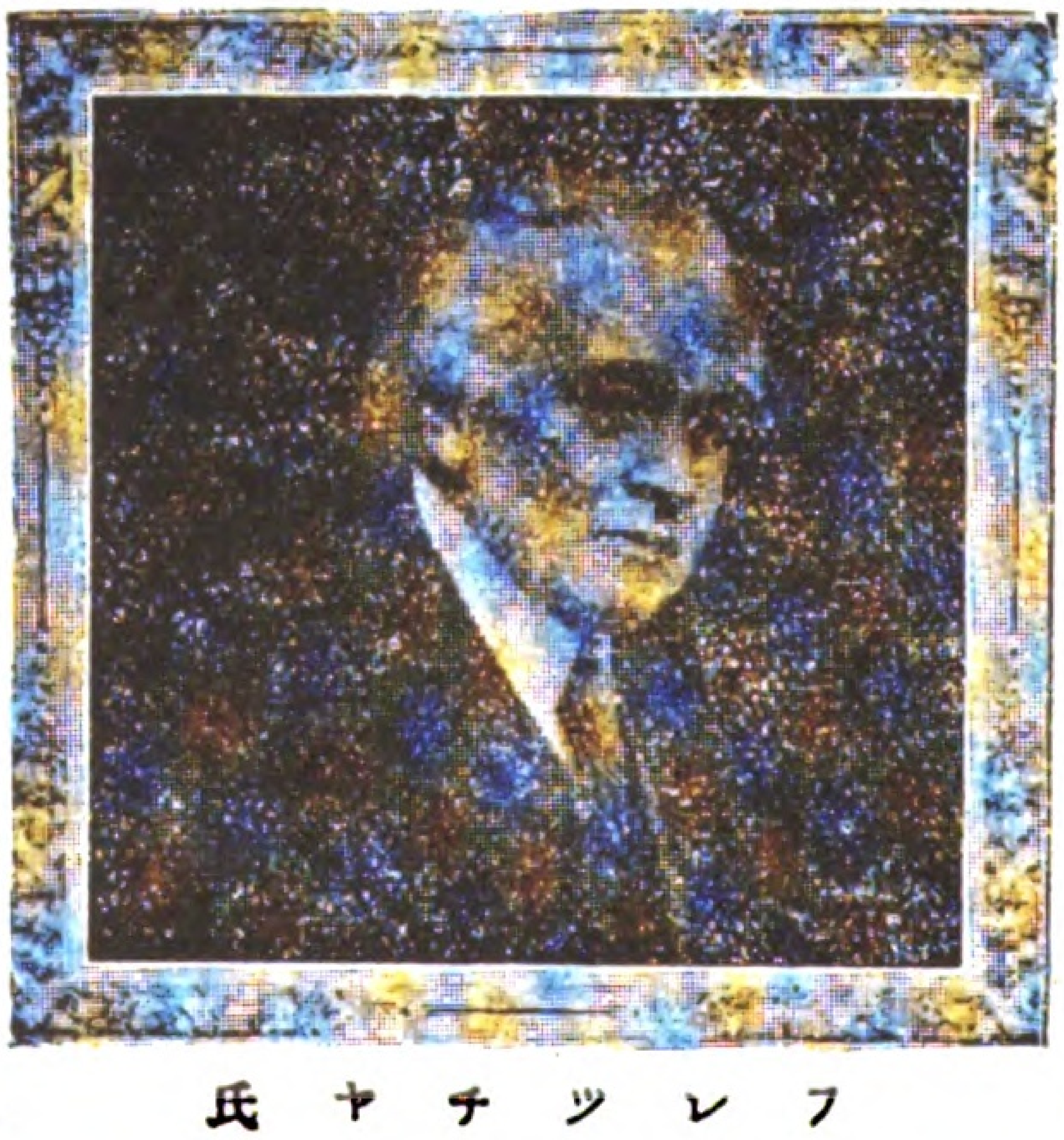
(3)ホントに甘いと思ふものにあらざれば、食ふべからず。

(4)ゆつくり味つて食ふべし、急ぎて呑み込むべからず。

(5)少し引かへ目に食ふべし、腹一杯食ふべからず。

(6)常には少し引かへ目に食ひ、時としては充分大食すべし。

(7)食事の時間、五分より無き時にても一時間もあるものゝ如く考へ其の間に食べられる丈けに滿足して急かずに食ふべし。急いで呑み込みしものは、何んの養ひにもならず。



フレッチャ氏

フレッチャは、此の方法によりて、其の健康を回復し此の方法はフレッチャ主義として世界に知らるゝに至つたのである。

◎今より五年前、フレッチャ氏は一雜誌に、此の主義の事を書いた。其の時彼は、「私は四十歳の時よりも七十歳の今日、反て健康で若返つた氣がする」と云つたが、それから五年立つた今日、彼は更に又一段若くなつた氣がすると云うて居る。

◎フレッチャ主義の實行者は、今は世界の各國にあるワケで、其の數頗ぶる多い次第だが、米國の有名な富豪ロックフエラーなども、其の實行者の一人である。今より七八年前、ロックフエラーは消化不良で困難し自分の消化不良を直して呉れるものあらば、百萬弗を贈與しても差支ないと云つて居た程であつたが其後フレッチャ主義を聞いて尤もと思ひ、早速之れを實行して、今では全く消化不良を直して居る。

◎聞いて見るとフレッチャ主義は、分り切つた事で、私共も承知の事ばかしである、併しフレッチャ主義の心持で食事をするものは至て少ない。之れ平凡なる此の主義を尙ほ唱へればならぬ所以である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭問題に就ての感想

新渡戸稻造

家庭の時間

日本橋の魚河岸では、何事も立話でキマる樣に、歐羅巴の實業家は凡て何事でも五分か三分の立話で定めてしまう。然かるに日本の實業家は凡て外交的にやらうとする、人の弱點につけ込んで、妙な儲けをしようとするから運動と云ふものをせなくてはならなくなつたり、話が長くなつたりする。ソコで可なりな實業家になると、朝から晩まで奔走して、一週間に一晩、家族と共に晩餐が出來れば結構と云ふ樣なことになつてしもうのである。

政治家には實業家に比べると、やゝ外交的にやらねばならぬこともあらうし、立話では濟ませぬこともあらう。ソレにしても、今日の政治家の樣に人の低い所にばかり訴へようとしないで、高い所へ訴へようとする樣になれば、今日の日本の政治家の樣に、自分の家で飯を食べることが少ない樣なことは、無くなるであらう。

啻に政治家や實業家ばかしでなく、今日の日本では多少名のある人々は、孰れも自分で求めてすることでないことで、多忙を極めさせられ、何にをしてるのか分らぬことで、今日も明日もと、日送りをさゝれて居る。其の爲め彼等には家庭の時間がないことになつて居る。

之れを當人が不幸と思はぬばかしでなく、其の子たる人々は寧ろ父がソンナに多忙で其の名の世間に聞へて居るのを得意として居る。妻たる人々も、同樣之れを得意として居る。日本人には善き意味でも惡い意味でも自分と云ふものがない、何事をするにも世の中に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

對してやつて居るから、家庭の時間のないことに對してすら、妻子まで不平を懷かぬに至つて居るのである。先日も或所で或敎育家が、人間の尊嚴と云ふことに重きを置かねばならぬと演說した。僕は之れを聞いて其の敎育家に質問した、併し君、日本には The men としての思想がないではないか、一本立の人間としての尊嚴なんて云ふ樣なことは敎科書にないぢやないか又ソンナ敎育をしようとすれば、上からばかしではない、橫からの壓迫が激しいではないかと、云つたことであつた。

一週間の設計

西洋人の中には、年の始めに、此の一年間に何々をするかと云ふことを、事細やかに定めてあるものが少なくない。何月何日には何所へ行く、又は何月何日には何をすると、一年中の事を前以てチヤンと定めてあるのである。中には前以て三年間の設計をして在る人さへある、僕の知つて居る何々夫人の如きは、前以て來年の何月には何々をする、來々年の何月何日には何所へ行くと、三年間のことをチヤント定めて居る。ソウまでしなくてもよいが、せめて一ケ月の設計をしたい、一ケ月が永過ぎるとせば、一週間でもよい、一週間の設計でもよいから前以て月曜には何、火曜日には何と定めて置きたい。何事も定めてすると大變に利益がある。

家庭の讀書

ソレから僕は、朝飯の時に家族一同で、三分でも五分でもよいから讀書することにしたいと思ふ。聖書の一句でも、金言集の一句でもよろしい、ソレを讀んで一同で之れを記憶するやうにしたい。又今日は秀吉の生れた日であるとか、或は今日はナポレオンが死んだ日であるとか、其他何にか何十年、何百年、若しくば何千年前かの其日に起つた大きな出來事を聯想して、毎日、毎日、其の日を平凡に、無意識に送らぬ樣にしたいと思ふ。

ソレに話の種がないと、兎角、人の惡口、人の噂さを口にするに至り易いものであるから、其の點からし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ても御飯時に讀書するなんて云ふことは必要である。

離縁に就ての質問

先日或雜誌記者が來て、讀者の一人から

妻を財産家から貰うた所が、贅澤で困る、トテも僕の力では養へぬから離縁しようと思ふが、ソンナ理由で離縁してもよいでしようか。

との質問を受けたが、之れに就ての御意見を聞きたいとのことであつた。僕は云つた、其の質問者に質問したいと。妻君が御馳走をする、ソレを恐らく一緒になつて食べたことであらう、まさか妻君が夫の留守に一人で食べたのではなからう。下女を餘計に置きたがつて困ると云ふが、其の下女を自分も使つて便利として居たのであらう。ソウでありながら勘定の時丈け金が餘計に入つて困ると、罪を妻君にばかり負はしめようとするのではなからうか。更にモウ一つ立ち入て云ふと、其人が財産家の娘を妻にしようとする時に、里に居る時と同じ暮らしが出來る、ソレに困らぬ丈けの收入があると嘘を云つて居りはせぬか。

ソウです、自分に一つ弱點がある、ソレは云々ちやと質問者自から白狀して居ると、記者は云つた。果してソウであつた、して見ると妻君は正直にやつて居るのである、彼は其の一言の失に、今祟られて居るのである、無いものは無いと云へば何んでもない、有る樣な顏をしたがるから、後日コンナ目に會ふのである。

自慢ではないが、僕は家内をつれて、米國から歸つた時、東京へ着いた翌朝、一番先きに家内を燒芋屋へ連れて行つた、而して之れが僕の食つて居たものであると敎へた。又其の以前から、日本へ歸ると一室しかない家に住まねばならぬと話して居たので、妻は東京へ着くと屛風を買ふ買ふと切りに云ふ、彼は札幌へ行けば一室しかないから、寢臺と食堂との間に屛風を立てねばならぬと思ひ込んで居るのであつた。今でも此の事が僕の家の笑ひ話になつて居る。

家とか、財産とかは、有るとて誇るには足らぬ、無いとて耻づるにも及ばぬ、ツマラヌ虚榮心から誇るに足らぬものを誇らうとして嘘を云ふから、ソンナ目に會ふのである。西洋にぢやとて嘘もあるが、概して嘘は少ない、日本人位嘘を云うて結婚するものはない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭の立憲的組織

田川大吉郎

僕が、僕の家庭で、之を改めたいと思ひ乍ら、未だに改め得ず、殘念がつて居ることが二つある。

その一つは、僕の生活の不規律で、その二つは、僕の子供の不規律、若くば、投げやり、やり放しの風である。

僕の生活は、なぜ、こんなに不規律だらうかと、僕は、常々、自ら嘆いて、憂えて居る、例へば、僕は、どうかして、一日に一度、朝の食事の折なりには、家族一同と、打ち揃うて膳部につきたいと思うて居るのであるが、それが出來ずに、我ながら恥かしく、我家族に對して、濟まない〳〵と、中心に詫て居る。

朝の食事すら、さうである、況して、夕べの食事は、大概は、家で取らない、一月の中、晩食を家で取ることは、三四回であらう、晝は固より外に在る、而して晩食の例この如し、朝亦然りだから、僕の、子供を敎育するなどは、今は只空名空事に爲つて居る、顧みれば、空怖ろしく、慚愧に堪へない。

それで、子供の樣子を視ると、甚だしく不仕鱈である、僕は、彼等に、自分の事は、自分で始末させたく思うて居る、夜具も自分で、着物も自分で、書物も自分で、風呂敷も自分で、掃除も自分で、つまり、その身に關する一切の事は、子供は子供なりに、自分で處置をするやうにしたいと思うて居る、然も、實際の有樣は、仲々以てその希望の半分は愚か、三分の一も、四分の一も實現されないで、全く放埓、不仕鱈を極めて居る。

細君は屢々下女の使ひ廻しに困つて居る、僕は、それを、出來るだけ聞かない風にして居るが、細君は、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

餘程それに困却し、當惑して居るらしい、僕も亦折々は、僕の家には、なぜ、頼りになる、まめな、器用な、親切な下女が來て、落ち着いて呉れぬのだらうかと、思ひ詫る場合もある、然し乍ら、そんな事を氣にして居ては、到底駄目だと、自ら勵まして、内の事は細君任せ、細君の爲し得る程度に滿足し、我慢するとして、僕は、知らぬ顏に、聞かぬ振して、過ぎて居る。

そは兎に角に、それらの一番大きな不滿足の原因は、僕の生活の不規律と、子供等の放縱にありはしまいか、どうしても、改むべき眞の病は、下女で無く、書生で無く、全く僕と、子供の身の上に在るやうである

考へれば、立憲政治ほど重寶な政治は無い、一の約束を立てゝ、その約束に束縛せらるゝ點から思へば、太だ窮屈のやうに、不自由のやうにも聞ゆるが、實際は、それだから、皆の調子足並が揃つて、工合よく、調子よく、圓く、正しく、便利に、進み捗るのである、之を家の食事にすれば、朝も、晝も、晩も、一定の時間に、家中の大小男女が、打ち揃うて食事を取るのは、銘々、つぎ〳〵、だら〳〵に、その思ひ〳〵に、膳に就くよりは、遙に工合好くて、家風の上には固より、經濟の上にも、仕事の上にも、人を使ふ上にも、使はるゝ上にも便利である、國に立憲政治の必要な如く、家にも立憲政治が必要である。

たゞ夫れ、立憲政治が足りないから、日本の政治は、今、動搖混雜を極めて、世界の物笑ひに爲つて居る、同樣に、我等の家庭は、その立憲政治が足りないから、太だしく亂脈、不調和の惡態を盡して、苦悶、不安、不愉快の種子と爲つて居る。

國の立憲政治も、もつと、其本に還らねばなるまい、同時に、家の立憲政治も、大いに作振せねばなるまい、否、家の立憲政治が、可成り、滿足に行はれた時、國の立憲政治も、始めて、稍有効に廻轉するのではあるまいか、僕等は、御互に、我家庭を立憲的にすることに、我家庭に立憲的精神を注入し、その習慣を養ふことに、先づ、力を盡さねばなるまい、僕は、不束かなる僕の一家の經驗からして、痛切にその必要を感ずるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人短歌

吉波良子

春雨に面打たせて思ふ程、なきて暮せし若き日の夕
花瓦斯の火を取るむしの狂ふごと、物に悶えし若かりし日よ
春雨は手枕暫し參らせむ、君にやせしを許したまはゞ
居留地に紅の日傘や白色の、スカート見えて初夏となる

長田雪枝

春迎く頃十日餘りも日記書かぬ、憂き日つゞけりあゝ春はゆく
音もなく春はくれ行くあゝしばし、メイムよとまれ暫しとゞまれ
はつ夏の緑の光水のごと、すめる我胸をかろくてらせり
心輕く野をさまよへば日に光る、新樹のみどり快きかな
初夏の日にかゞやく新緑あふぎつゝ、我狂喜して走らんとせり

二首姉君の如く思ひ參らす君の病ときゝて

あはれ又病む姉君の白き面は、思ひうかべて涙こぼしぬ
我うれしく新緑の野を歩みしが、ふと君をおもひ心ふさぎぬ

下條露子

ともすれば先づ自らを疑ひぬ、やがて來るべき失望よあゝ
赤々とメーフエルドの新緑の、樹の間に光る夕映の海
淋しさにさまよひ歩き眺むれば、蝶々眠れり石塔の上
黒き死の影にまつはれ泣く男、わくら葉ちるを見てありしかな
寛永寺葉櫻の下雛僧が、ひとり立つなり黄昏の庭
妙源寺庭の小池の水草に阿陀彌如來を念ずる蛙

藤井夕子

悲しきは我君やめる病院の、窓に咲くなるほの白き花
夜となれば堀割に立ちさめざめと、我病める君おもひては泣く
君をおもひ彼の病院にとひ行けば、わが目にいたし看護婦の服
戀に生きこひに死ぬべき我命、かく君は病むいかゞしてまし
君やめるかの病院の窓に泣く、赤き目の鳥こひしなつかし
あはれにも月はしらしら此濱に、君とわれとにてらせし其夜
夜の海の物靜けさを我好む、その濱邊にて死なばおもひぬ
あてもなくうつくしき夜の街をゆく、さみしき心まぎらさむため

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

冷つこい眼

三野村きよ

△その男を何處で御覧に成つたの？

○劇場の廊下で。明るい電燈の光りをよけた隅の方でね、白い壁に倚かゝつて私をぢつと見たの、それも鋭い冷つこい眼でね、私はぶる〳〵つと體が震えましたわ。

△いやな氣持がして？

○えゝ、けれど恐怖のうちにも何處か快感を覺えたのは妙ですわね。

△あゝあの晩でしよう、二人でカチユーシヤの歌をうたひ乍ら歸つた……………あなたは眞實に奇麗でしたものねえ、殊更美しく化粧した若い女達の強い色彩のうちに、あなたの姿はどんなに清らかに見えたでしよう、たつぷりとある髮を崩れかゝる程ゆるく束ねて、撫肩をすべる黑い羽織が蒼白い頰を一層凄く見せて居ました、丁度夕暗に光る銀色の星のやうにね、私が男だつたら矢張りみたでしようよ。

○然ですか、あなたの御言葉なら嬉しく聞くのよ、けど私は寡婦ですものね、心が僻むんですよ、その可愛想な自分を見るのが厭なのです、眞實に厭なんですよ。

△若い美しい寡婦さん、ホヽ、若い美しい寡婦さん。

○そんなに顔見ちや厭ですよ、まあ聞いて頂戴、私がまだ斯んな境遇にならない前には、子供のうちに髮をおろしたといふ尼さんに逢ひました、その女が落附のない妙にばさ付いてるのを見てね、墨染の衣を着たあの胸には

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

どんな事を想つてるのかしら、染々と哀愁の情を感じる事も出來ない程の無智の女なんだらうつてね、半ば嘲笑的に憐んだ事があります、私は丁度その人の視線をよけた時にそんな思ひがその人の眼に閃めいたやうに思はれました、堪らなく悔しかつたわ。

△へえ……………

○なにしろあんな眼をみたの始めてなんですもの。

△あなたは今迄に戀人がなかつたの？

○えゝ、いつか良人を好きになれるんだらうと思つて居ましたが、とう／＼好きにならない内に死んぢやいましたの。

△でも御主人の遺骨がロンドンから着いた時にはお泣きになりましたね、まるで戀人に別れたやうにね、あなたの憐れな姿に一同泣かされたんですよ。

○眞實に泣きましたのね、けどあの時泣き乍らふと何が悲しいのかと疑つて見ましたの、そうして死といふものを始めて見たからだと知りました、それから眞黒な死の手が若い自分も一處に引つ浚ふかといふ恐怖に襲はれた爲なのでした、さう氣が附いていきなり顏をあげて見ると、周圍の人達の嚴肅な格好がくだらなく成りました、みんな泣いてるんですよ、私は堪らなくお可笑くなつて大きな聲出して笑らひ度なつたんですよ、並んでる人達の頭をひとつ／＼毆打つてやり度なつたんです。

△それぢや、何故しほらしい油つ氣もない髮や、紅ひとつ差さない素顏で今日まで暮らしていらつしやつたの？

○私もさう思ひます、自分から若さを捨てやうと務めて來た事が不思議に思へて來たのです、惜しい事をしたと悔むやうになつたんです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△若い美しい寡婦さん！
○厭だわ、あなたはひやかしてるのね。
△えゝ、あなたは苦勞が足らないんですよ、緋鹿の子の帶を胸高にしめてたほんのねんねえが、世間に強い力を持つた男の戀女房になつたんでしよう、さうして女親の手ひとつにかなり甘やかされて育つたうへに、猶一層我儘な華美な生活に浸つて來たんですもの、冷つこい眼におびえた筈ですねえ。
○私そんなに甘く見えて？　仰る通り羨まれるやうな生活はして來ました、けれど物質的な溫つこい人達に包まれて人知れぬ寂しさを味はひました、自分の前後に大きな垣があつて、身動きも出來ないやうな究屈さを感じて居ました、そのくせ誰か暗い闇のうちで手招ぎして居て、それに引付けられさうな不安を感じたりしました、決して呑氣ぢやなかつたのです。
△それはあなたの體の底で煮えくり返つてる血の仕業でしよう、そこで慟して好きになつちやつたか聞かせて下さい、冷つこい眼に恐ろしく憤慨したくせに。
○その人の藝術を好きになつたんですよ、憎い〳〵と思ひ乍らその人のものを讀みました、女のほかには感じ得られないやうな情調をよく知つてるんですもの、冷つこい眼を持つてる筈だと思ひました、私は此世界にたつた一人自分を知つて吳れる人があれば死んでもいゝと何時でも思つて居ました、さうしてその人に打突かつたんですもの。
△それで逢ひ度くなつたのね、おや何故逢はずに歸つたの？
○或日の午後でした、いゝしつくりと肌に着く袷の着ごころのよさに微笑ながら家を出ました、車は途中からかへして郊外のその人の家を一人で探したの、人に聞くのも厭だと思つてるうちに夕方になつて了つてね、何となく心

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

細くなり始めたの、家を出る時束ねた鈴蘭が私の手の温もりでうなだれて來ました、強い香が懐かしくつてね…
……心の底まで見透すやうな眼で見られるんだ、默つて丶もすつかり私の氣持が分つて了ふに違ひない、今度はひねつくれずに柔順な純な娘のやうな氣持で逢ふのだ………さう思ひ作ら疲勞た足を引づつてゆくと、低い生垣と小さな門が眼に付いたのです、門標にその人の姓が無雜作な字で書いてありました、私はぎよつとしたのよ、張りつめた氣が急に弛んだやうで、何だか處女らしい恥かしさが胸一ぱいに成つたの。

△馬鹿に詩的なんですねフ、、、それから?

○偽らないで言ふのですよ、私はその瞬間に自分の美と智識とを疑ひ始めたのです、つまらない女、ありふれた女、そんな冷笑がその人の眼に見えはしまゐかとね。

△へえ………

○私がそんな事思つてると………あ丶もう聞かないで下さい、私は思ひ出したくありません………

△………

○顔見ないで下さい、見ちや厭ですよ。

△………分りました。あなたは美しい空想が忌ましい現實に破られたと言ふんでしよう。

○………

△それであなたの浮氣の虫が納つたんですよ。

○い丶え、い丶え、私はあの人の藝術を愛して居るんですよ、そんな事はつまらない………

△すつかり超越したと言ふんですか? 苦し紛れにうそを言はないもんです。

○………

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△あなたは人生の遊戯に浮かれてるんですよ、若い美しい寡婦さん！　女は年齢に復讐されますよ。

○え丶、知つてます、知つてます、私はいつだつて其事を思つて居ました、けれどそれを考へないやうによけて居ました、現在あなたからその事をはつきり聞かされるのは苦痛で堪りません。

△あなたは恐ろしいその復讐に勝たなければなりません、強い力を築き上げなければなりません。

○あ丶あなたは悲惨な事ばかりお聞かせになります。

△いま私が言はなければ事實が證明してゆく事になります、しかしまだあなたは悲惨な想ひをしなければなりませんよ、あなたの武器はおもちやのやうに毀れ易いから………。

○い丶え、そんな武器ぢやありません、私は誰にも出來ない事をきつとやります。

△それはつまらない意地です、あなたが是からなさらうと言ふ事はみんな私共の經驗して來た事です、たゞ形が違ふといふ事だけで。

○…………

△若い美しい寡婦さん！最！あなたは冷つこい眼に驚異されません、足元ばかり見て苛ら〳〵してちやいけません、遠くを御覧なさい、遠い遠いずつと遠い處を…………。

○…………

（終）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

トルストイの戀文（一）

露子

米國建國の偉人ジョーヂ、ワシントンの夫人は、夫が此の世を去つた時。

　モウ凡て此の世に用事がなくなりました、私も直ぐ後を追ひます

と云つて居たが、果してワシントンが死んで二年目に夫人も此の世を去つた。其の臨終に際し、夫人は其の一生の間、夫ワシントンと取りやりした手紙を、悉く取り出して燒き棄てゝ了はれた。燒き殘されたものが幸に二三あつて、世に傳はつてるが、其の中の一つに

　御身が安全に暮らして居ることを、御身の筆で書き送くれ、ソレを讀むことが、私にとりては、何によりも幸福である。

と云ふ樣な文句もある。

此のワシントン夫人のやり方とは、正反對に出て、トルストイ夫人は、今回、亡夫と取りやりした一切の戀文を編輯して發刊した。夫人の此の行爲に對して露西亞の新聞雜誌の中には非難をしたものもあるさうですが、夫人は其の非難に對して

　私が此の世を去る前に、私にとりて、大切なる結婚生活四十八年間のことを語る此の手紙集を發表して之れをトルストイ愛讀者に分つのは、私の熱心に希望して止まざる所であります

と云つて居らるゝ。

私はまだ其の書を手にしないが、近刊の雜誌『英國婦人』に其の拔き書きが載つて居るのを見ましたから、同誌から少し拔き書きの、又拔き書きを致します。

トルストイの夫人に對して送りし最初の戀文は、千八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

百六十二年の九月十七日に書かれたもので、結婚に就て夫人の諾否を促したものであるが、其の書き出しは

私は三週間苦悶しました、毎日私は今日こそ貴女に凡てを語らうと思つて出かけるのですが、さてお目にかゝると一言も出ません。ソレで今日は此の手紙を書いて持て出かけます、若しお目にかゝりし節、今日もお話が出來ませんでしたら、之れをソット貴女へお手渡しして歸る所存であります。

などと云ふので、頗ぶる面白い。

結婚後、二年立てから、トルストイは一日、狩に行て右腕に負傷してモスコーの病院へ入院した。其の病院から彼は夫人へ、書記に代筆させた長い手紙を送つたが、此の手紙の終りに、彼は痛む手で、我慢しながら

日曜日までにはキット歸れるでしよう、歸つたらキツスしますよ、數千……併し左の手でしか抱けないぞ………

なぞと、書き加へてある、之れ丈けは流石に書記に口述することが出來なかつたものと見える。

其の次の手紙に

御身は私にとりては最善、最純、而して世界で最も美しき婦人である。

なぞと書いてある。

結婚後十二年立てからの手紙に

御身に對する私の愛は、倘ほ日に〱増し行くのみである云々。

と書いてある。

トルストイと夫人との間に、疎隔の出來たのは、後年トルストイは財産を全然棄て了はんとし、夫人はソレを拒んでから後のことで、晩年までは、斯くまで其の間の愛情が濃厚であつたのである。

トルストイはナポレオン一世と同樣の惡筆家であるが夫人は其の原稿を一ち一ち清書せられたのです。彼の大著『戰爭と平和』の如き、トルストイは訂正に訂正を加へて幾度でも眞黒にするので、夫人は全體を七度も清書されたサウである。(未完)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天才の女

マリイ、バシカアトセフの日記（三）

高安月郊

其頃監督に出した手紙に、
「私は男でありたいのです。」
　そして日記には、
「私は何かになる事が出來ると知つてゐる、けれど女袴では何が望めやう。結婚が女には唯一の道だ。男は三十六の機會を持つてゐる、女は唯一。」
　彼もまだこんな事を思ふ時がある、されば悲觀に陷つて、
「何といふ恐ろしい生存！　私が怜悧であつたら、どうしてこれから出るかゞ分るだらう、しかしそれに對してそこに唯或者の言葉がある、それにその或者は私だ。どこに私は私の智惠を證明しやう。」
　彼の智惠は唯藝術、或時結婚の話が出ると、
「結婚するなら、月極で借る部屋を撰ぶ樣で無く、一軒の家を買ふ樣に考へるが好い。」
　しかも其二日後に、
「私が本當に美しく、英雄時代の價があると思ふ事が一ある、それは愛する人の優秀の前に女が自己を消滅する事は高尚な心の女に依つて感せられる自尊の最麗はしい満足であらねばならぬといふ事。」
　これが上包の外女の何も無いといふ女の思ふ事であらうか。或日、
「今晩湯上の後私は俄に美しくなつた、私は自見るのに二十分費した。今晩私を見る人があつたら屹度成効。私の皮膚の色は全くまばゆいそして華奢で優しい、私の頰は瞿麥の極微な色を持つ、脣の線と眉と目の外著しいものは無い。」
　しかし暫も醉ふ事は出來ず、「人生の最も恐ろしい事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は總て衰へねばならぬ、羊の皮の紙の樣になつて死なねばならぬといふ事！」

同學にプレヌラウといふ女がある、其技倆は競爭の相手にもなり妬にもなつた、しかも或時は其眞らしく出來た女の頰に接吻し度なる事もある、そしてはまたふさぐ事もある。始は普通の女の仕事の樣に唯機械的に忠實に勉めたが其內に自己の或物を置かねばならぬと分つた、しかし其或物は何？次の年は正月早々から

「私が望むのは獨歩きまはつたり、行つたり來たり、テウイレツイに、殊にルクセンブルクに掛けたり、藝術品の店に立止つて見たり、寺や、博物館へ入つたり、夜古い町をあるいたりする自由だ、それを望む、其自由が無けりや眞の藝術家になれない。それにルウブルへ行くにも、車や、女連や、家族を待たなければならない樣に附纏はれてゐて、多くの好い事が見られると思はれますか。憎らしい！　私女だと思うて齒がみをするのはこれだ。私町人の着物に鬘をつけて醜くして男の樣に自由にならうか知ら――」

「女の藝術家が無い重な理由はこれだ。あゝ深い恐味！　酷い習慣！」

誠に一の理由である、しかし重な理由では無い、兎に角其不自由は未にあるのはいつまでも壓抑したがる人性の自繩自縛か。其十日には、

「若も晝で早く譽をえなければ自殺しやう、それまでだ……ロシアで一度自殺し樣と思つた。しかし地獄が恐ろしかつた。三十になつたら自殺しやう、三十まではまだ若い、何か幸福成功が向いて來る望がある。」

これは、虛榮からで無い、短命の前徵である、また信仰の動搖である。

「今まで私はいつも神に祈つた、しかし少しも聞いて下さらぬから殆信仰を失ひ出した。

神は全き絕望から我々を助ける作り物である。神を信せずに神の名を最後の極端で呼ぶとは何といふ事だ。」

一日置いて畫堂へ行くと、其畫は壁に掛つて「褒賞」としてある、彼は山が頭の上へ落ちかゝつたより驚い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。「これは若い男の作だ、力がある、自然に忠實だ」と人々はいふ。彼は大志の絶頂に達した樣に祝はれたが、第八番にされた女を慰めて、「天才は惡い事をするかも知れない、しかし馬鹿に好い事は出來ない。」

兎に角彼はネープルスの王に逢うた時と、デユマの小説を讀んで見もせぬ作者を熱烈に戀したと思つた時に次いで戰慄を覺えた。

「若私が十六だつたら地上最幸な女であつたらう。」

しかしもう十八であつた、しかしまだ十八であつた。されば次の月師に叱られたと云つて大騷をやつてゐる其次の月には自ぢれて、「私は行つて首をくゝらう」と書いてゐる。しかし無論それは一時の興奮で、四月には。

「何にしても人生は愉快だ。私は丸で獨の時歌ひ、踊る、丸で獨は大な樂だ。召使や家族に妨げられると何といふ苦痛!」

しかし其秋にはまた

「私は屢冗談にいふ、人生は唯通過であると。私は本當にさう信じる事が出來たらと思ふ、そしたら總ての此哀、此慘酷な悲、此卑劣な輕蔑の中に慰められる。全世界は惡戲者に與へられてある。」

「神は我々が想ふ樣な者で無いと信せねばならぬ。神はおそらく自然それ自身である。」

次の年は一年中働ける爲、元日畫堂へ行つた、しかし三日あたりから頻に咳をし出す、しかもそれがものうげな風に見えて自分にふさはしいと思ふ。其春始めて其畫を公會に出した。彼はあつく、寒く、葬式にある樣に、水に圍まれた樣に感じた。次の日懺悔に行つて、若神を信じなかつたら死んだらうと書いてゐる、しかも會で受取つたと聞いて喜を覺えず、「此成功は私の價値が無い。」

其會で始めてバスチアン、レペーチのジヤン、ダアクを見た。それは林檎の木にもたれて一枝をもつ田舍娘に描かれてゐた。しかも其崇高に感涙を催した、しかし其強い感じは畫から畫家に及ぶとは未解しなかつた。其秋

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「好い日は花に始まつた。私は彼を夢みた。彼は醜くて惡い、しかしそれはかまはぬ。今分つた、人が愛するのは美の爲で無いと。我々は前からの友の樣に、復逢つたら話す樣に話した。私は唯一事を望む、我々の友誼は續く樣に制限の内に止めやうと。」

此彼は夢か、現か。彼はデュマが「若い娘に戀は出來ぬ」と云つたのに憤慨して、「それは偉大な純潔な感情で其總ては淸い」と書いた。此無邪氣は全篇に通じてゐる。

次の年の元日花束を或女に與へて其戀の成行を問ふと六年續いて少しも變らぬといふ。彼は首肯して「變り馴れる愛は眞の愛で無い。」しかも「眞の愛は永久で無いかも知れぬ、しかしいつも比類が無い。」

其夏本國へ歸つたが、又パリへ戻つて、

「あゝどんな悲が感せられても、それに喜は含まれてゐる。さうだ、唯一恐ろしい傷は自愛のそれである、それは何も含まず死より惡い……しかし其外の總て―神、死、絕望の戀、別！ それ等は何にしても生だ。」

秋スペインへ行つて鬪牛を見たが、始は慘酷な遊で面白くないと思つた二度目には世界無比と血に醉うたマドリッドの畫堂ではウエラスクエッを無類として、それを模寫した。彼はそこから我神聖な火を捉へて歸つたのである。されば次の年は、愈藝術三昧に入つた。

一月二十一日或夫人につれられてバスチアン、レペーチを訪うた。彼は小さい獅子鼻の、少年の樣な髭で、其豫想は丸で覆つた。其畫には感服、恐、妬を感じたが、其人は仲間の樣に思はれた。其後やつて來て、自作を見せると、驚くべき天分があるといふ、お世辭でも無さ相なのでひどく喜び其頭を抱かうとした。其春虹を見てゐる農夫を描くと聞いて益感服してゐる。

「私は十分信じる、私は決して戀をせぬと……しかし―……そして彼も多分私を戀しまい。」

其十二月に

「眞の、唯一の、無類の、大バスチアン、レペーヂがけふ來た。私は氣ちがひの樣に、不體裁に、まごついて、見せる物が無いのに悲しく羞ぢて、接待した。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

バスチアンは崇拝すべき人だ――それは私は其天分を崇拝するといふ事だ。」

次の週また「大な眞の、無比のバスチアン、レペーヂ」と其弟を招いて始めて晩餐を饗した。そしてそれを餘り馴れ過ぎて退屈になりはせぬかと恐れた。

其三日後、右の肺が惡いと醫者はいふ。

「神は惡い。」

次の年の元日、政治界の英雄ガンベッタが死んだ。

彼は非常に感動して、

「此世の外に何かあらねばならぬ、此過ぎて行く生は十分でない、我々の思想渇望に釣合はぬ、今後が無くてはならぬ、それなしでは此生は解決が無い、神も不都合だ。」

彼は凱旋式の樣な葬式を見て一層絶望した。次で其家へ行くと、其食堂の小さ、客間の貧しさ、寢室は天井に手が屆き相な。「此人は愛されなかつた！」と彼は嘆息した。寢床の下で其死相を描いてゐるのはバスチアン、レペーヂである。彼はそれを覗いて、未生きてゐる樣な表現と次の世の莊嚴を認めてよろめいた。そして畫より畫家が大人物に見る情のある、氣取らぬ眞面目を持つてゐるのを認めて、仕舞には美しいと見るだらうと思つた。部屋の靜さ、萎れた花に窓を洩る日のはかなさ。彼は泣いた、涙を拭きもせず、不意に握手して出て行つた。

二月の二十二日、彼は獨ピアノを彈いた、好い月で、空は明に蒼い。彼はハムレットをよみ、

「永久に感じさせる劇、不朽の性格……オフエリア……青ざめて美しい。それが人の心に觸れる、オフエリヤ！　不幸な戀を經驗したくなる。あゝオフエリヤ、花、死……これは可愛い！」

彼の思はバスチアンに及ぶ、

「私は斷えずバスチアン、レペーヂの事を思ふ、其名を發音するに馴れた、そして何か羞づかしい樣に世間で云ふ事は避ける。」

そしてそれを未友情と思てゐる、其畫が彼に似るのを恐れて、しかも彼の畫を其心に持つてゐる。それから快活な日が續いたが、レペーヂの名はくりかへされる。

「彼は總ての王だ、其驚くべき技に依てのみならず、強い感情の深さに依つて。」

強い女王は弱い女になつて來た。　（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海外婦人消息

中尾清太郎

□先頃"Lee shore"と云ふ小説を書いて、ホッダー・エンド・ストウトン社提供の小説競技懸賞金一千磅を第一番にせしめたローズ・マコーレー嬢の新作"Making of a Bigot"がロンドンから出る。

□有名な旅行家兼小説家マリー・ガウント夫人は、北京から、ずつと奥まつた所へ入り込んで、古寺や古佛に眠んでゐるが、何でも非常に寒い所で、熱湯の瓶を傾けるのに、氷柱になつて出ると云ふ程の寒さださうな。さう云ふ消息がロンドンの彼女の關係書肆へ届いた。

□前項のマリー・ガウント夫人の義兄に當る北京のモリソン博士は、彼女の中央アジヤを横斷しての英國歸りの企畫に對して、いろいろ忠告してゐるが、夫人はどうあつても――それが爲めに死んでも――危險を冒して行くと云つてゐる。勿論人跡稀な、隊商も通らぬチベツト、トルキスタンと云ふ土地を單身進むのだ。出發は四月だつた。

　彼女の"A woman in China"の原稿は、既にロンドに着したから、遲くとも此秋には出版される筈だ。

□近代のジエーン・オーステン女史と呼ばれるアリス・ペアリン夫人の新著"The Happy Hanting Grond"(Methuen)は非常な好評を收めてゐる。彼女は四月三日'The Balham Assemblyで『アングロ・インヂアンス』に就て講演を試みた。

□有名な著述家兼代議士スノーデンの一女マリオン・キーレー嬢、及び其兄弟ジョン・キーレー君はピアニストとして、又セリストとして、それぐ\或る成功を收めつゝあると云ふ。彼等はドビツシーや、シトラウスや、又勿論ベトオベエンをもやつてみせる。それで如何にも"The Forbidden Theatre"の著者のアイデアリズムを承け繼ひだものだと言はれてゐる。

□ビショップ嬢のロシヤ旅行記は、東露南露コーカサ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

スから、昔アレキサンダーの進んだ道を往つて、トルキスタンまで書き入れてある。近來の評判本だ。(ロンドン出版)

□此頃マクミラン社から出た二冊本のリットン卿傳(By The Earl of Lytton)で見ると、彼は少年時代にジプシイの娘にひどく戀せられたことが載つてゐる。それで『マルッラバース』の戀物語の出所もわかると云ふ譯だ。

□トマス・ハーディの新妻となつたフロレンス・エミリイ・ダッグデール嬢は、多年ハーディの秘書役を勤めてゐた女だ。ハーディの原稿をタイプライターに取つてゐたのは彼女だつた。結婚式は二月十日にあつた。彼女の著書は、前回の婦人消息に示した通り、多く少年の讀み物だ。

□アメリカの諸會社に婦人の株主が殖えて來るのは、近年に於ける著しい現象だ。二百五十二の會社中、婦人の株主が三十一萬に達した。其中十三萬は鐵道株、十八萬は産業株だ。從つて重役などに當選するものも多くなつて來た。ペンシルヴァニヤ鐵道では株主の四割八分が婦人だ。一九一二年の同社の株主名簿を見ると、婦人が三萬五千三百七十六だつたが、去年一年で四萬三百二十五に上つた。ユニオン太平洋會社でも八千四百四十五から八千九百六十に上つてゐる。ニューヨーク中央社では八千二百五十九から八千八百五十九、ニユーヘヴン社では九千七百十から一萬四百七十四、米國電話會社と電信會社では二萬五千五百二十九から二萬八千百八十八、合衆國護謨會社では四千三百五十から五千七百八十に上つた其他略。

□英國今日の小説も、印象派風のものと、センチメンタルなものとが、兩極端に馳つてゐる。コンスタンス・スメッドレー嬢の近業"Una and the Lions"は日常生活の平凡事に飽いたウナと云ふ女敎師が、ローマンスの國を覓めて、イタリーへ出掛け、其處の寄宿學校の生徒となつて、フォルサイスだの、ベンニイだのと云ふ女を自分のライオンとして交はる中に、或る男から贈物を受けて、誘惑に罹らうとした危難事などを、全篇のクライマックスとして描いてある。但し何處までも自然に伸びた小説で、爲組は少しも用ゐてない。センチメンタルなものとして、評判である。

□英國女權協會同盟は、故エドワード・ライト氏(サー、エドワード・ライトの長子)が同盟の爲めに寄贈した遺産五百磅を受け取るやうにとの公式の通牒に接した。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大森アンニー夫人

柳子

コッポ博士未亡人

確か去る三月上旬の事でした、故コッポ博士の夫人が來朝されて、鎌倉稲村ケ崎に赴き、昨年夏同所の丘の上に建設せられたる故博士の記念碑の前に、持參の花環を供へ、神官の祝詞ありて後、玉串を捧げて親しく參拜し其節傍人に向て

亡父と共に去る明治四十二年七月海濱院に滯在中數回此山に登りました、夫も大層此處の風景を好まれましたが、私も非常に氣に入つて居りますから、二年程過ぎましてから、私も是非此地に庵を結び、日本の尼法師の如く心靜かに亡夫の冥福を祈りたいと思つて居ります。

と語られたと云ふことである。

智恵と愛情

日本人の多くは、『智慧が増えれば情が冷やかになる』とか、『西洋婦人は夫に對して冷淡であるとか信じて居る樣であるが、ソレは間違つた觀察である。實はコンポ博士未亡人の如き、夫思ひの夫人が多いのです。

故大森兵藏氏の夫人アンニーさんの如きも其の一人である。夫人が大森氏と結婚して歸朝された始め、大森氏の兩親は甚く夫人を嫌はれてたるのであるが、ダンダン夫人の爲す所を見て居るに、日本服を拵へさして一生懸命夫れを着る稽古をしたり、疊の上に坐つて御辭宜の稽古をしたり、又熱心に日本語を學びなどして、夫の國風に同化することに、並大抵ならぬ苦心をされてるのみか、自分等に對しても、ソレは〱能く勤

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

めらるゝので、兩親もトウ〳〵我を折つて、夫人を敬愛するに至つたのです。

其後夫人は夫と共に歐羅巴に赴き、歐羅巴を旅行中夫は客死されたのである、されば普通ならば其の儘歐羅巴に止まりて、モウ日本へは歸らぬのであらうが、夫人は夫の國の土となるのが願ひであると云つて、孤影悄然日本に歸來し、東京市の郊外柏木に幼稚園を開きて多くの幼なき者の友となつて居らるゝのである。

兒童運動場期成會

大森夫人は又、かねて夫の遺志を繼ぎて、東京市内に兒童の運動場を拵へる運動を始める考へで居られたが今回いよ〳〵兒童運動場期成會を組織し、去る五月九十の兩日、午後三時よりと、午後七時よりと一日兩回づつ、名士を聘して兒童運動場に關する講演會を開かれた。

私は九日の午後三時に、右の講演會に列したいと思つて神田の青年會館へ出かけた、室内には大森夫人が獨力製作せる兒童運動場の模型や、歐米各國兒童運動場の寫眞などが飾付けてあり、定刻ヤヽおくれて、坂本萬年小學校長立ちて演説を始め、續いて高島平三郎、留岡幸助兩氏の講演があつた。聽衆は三十餘名で、大森夫人は『社會の人々は餘り吾々の事業に冷淡ですね』と嘆息せられて居た。

遊戲の價値

私は當日高島先生の『遊戲の價値』と云ふ講演を聞きて大きに益を得ました。先生は先づ遊戲の學説を説きて

△第一は精力過剩説である。精力に餘りのある所、即ち生活に餘力のある所から、遊戲と云ふものは始まるのであるとの説である。

△第二は休養説である。人間の身體なり精神なりの或一部分が疲れて來ると、他の部分を動かして其の疲れた部分を休ませたくなつて來る、例へば腦を使つて疲れて來ると、散歩にでも出かける。遊戲とは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

コウ云ふ意味から起つたものであるとの説である。

△第三は生物學的の見解から出た説である。此の説では、小供がやつてる樣々の遊戲は皆之れ將來其者の生活の役に立つことの練習となつて居るのであると說くのである。

△第四は反複說である、此の說では、人間の一生は生物あつて以來の生活を悉く繰り返すものであつて、兒童の遊戲の中には、下等動物の生活の繰り返したるものが極めて多い、例へば兒童が無意識に自轉車の後を追つかけるのなぞは、犬が自轉車の後を追つかけるのと少しも變りがない。

△學問の傾向は原理を一つと爲すにあり、されば將來遊戲の原理も一つとなるかも知れないが、今の所では右の四說が存在して居る。四說ともに皆れ夫れ夫れ理屈があることであるから、實際家は右の四說を頭へ入れて置いて、四說何れも使ふがよろしい、殊に敎育の爲めを思ふ人は第三の練習說に重きを置きて、成るべく將來の生活の役に立つ練習となる樣な遊戲を餘計にさすとよろしい。

と云はれ、進んで本論へ這入つて

△遊戲の價値を認むるものに三說あり、第一は退屈したらうから少し遊ばせてやれと云ふ風に、休養と云ふ意味に遊戲を見て居る說である。大人にありては遊戲は此の樣な意味合のものであらうが、小供の遊戲はサウぢやない。此の說は未だし〳〵である。

△第二は、小供に遊戲をさすと、惡いことをしなくなるとの說である、此の說に從へば善い小供ならば遊ばせなくてもよいと云ふことになる、此の說も充分とは云へない。

△第三は、遊戲は小供の權利であるとの說である。人間には生きる權利あり、生きると云ふことは活動することである、大人にありては活動が卽ち自己表示で有目的であるが、小供にありては活動卽自己表示とは行かぬ、ソレ故に無目的の遊戲となるのである。英國の諺に『仕事ばかりさせてると、太郎を馬鹿者にして了ふ』との語があるが、如何にも其の通りで、現に吾々の眼前に其の實例がある。或幼稚園に牧師の小供でお婆さんに養育されたおとなしい一方の小供が來て居るが、此の小供は他の小供と一緒に遊ばない、他の小供が面白さうに遊んで居るのを、冷やかに見て居る。今日の敎育法から見ると此の小供は馬鹿である、私は此の小供の敎育に就

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ホシ小兒專門藥

▲ホシ小兒專門藥は世界最進の學理と實驗とを參酌し小兒の體質を主として製劑された空前の理想的小兒藥である

▲小兒の死亡率は世界を通じて最も多い世の親たる者細心の警戒を要する速に本劑を常備して愛兒の健康を計られよ

全國各特約店にあり　定價美鑵入一箇金拾錢　六箇箱入金六拾錢

資本金百萬圓

星製藥株式會社

東京京橋區南傳馬町三丁目（電話京橋一七八五番　振替東京二〇五二二番）

花柳病豫防液

ゼニール

専賣特

旅行家は必ず本劑の携帯を忘れ給ふな

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を装置する安全注入器は携帯至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に好適す。花柳病の滔々恐るべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは是のゼニールなり。本店は勿論何處の取次店も大に歡迎す決して恥ず可きに非らず僅かの錢を惜みて恐るべき病に罹るべからず。説明書ははがきにて申込あれば進呈。

御婦人は藥液ばかりでも間に合ひます

定價

特製（器械 藥液）	一組	二圓
甲種（器械 藥液）	一組	壹圓五十錢
乙種（器械 藥液）	一組	七拾五錢
藥液ゼニールのみ	一瓶	廿五錢
送料	各	八錢

＝一ツ ＝三ツ

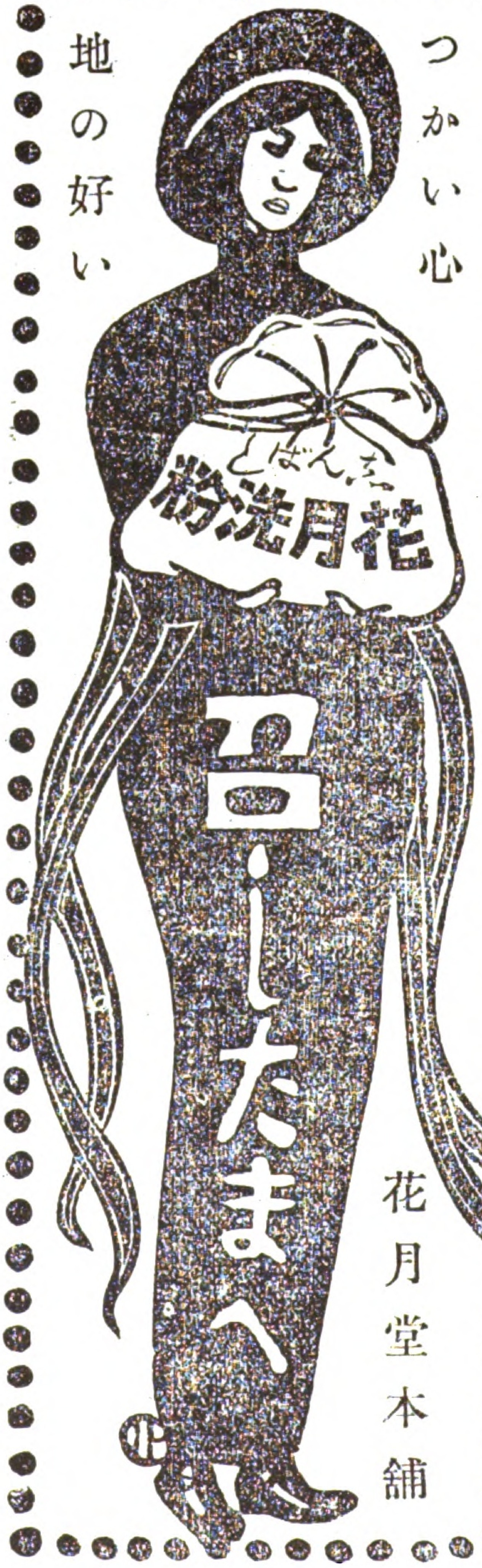
發賣元 東京銀座貳丁目

精錡水本舗 岸田吟香

振替東京四七八七番

電 京六一五番

つかい心地の好い



召したまへ

花月堂本舖

東京橋區宗十郎町
電話新橋二七五四番

◉各女學校長より頗る御賞讃を博しつゝある

新案特許

くつ下つくろひ器

本器は靴下の破た所を繕ふばかりでなく總のメリヤス類はシャツでもヅボン下でも其他何でも簡易にわからぬ樣に繕ふ事が出來ます至極重寶な經濟的の器で有りますから家庭には一個は是非なくてならぬ器であります。（靴下一足三錢より繕升）

●定價一個金三十錢●送料四錢郵券代用一割增二錢三錢切手に限る

發賣元
東京銀座四丁目十二
電話京橋一七一四番
ハンエイ社

◉特約販賣希望の方返信料添へ御照會あれ◉各雜貨店及靴店になき時は弊社へ

驚くべき洗濯石鹼界の大恐慌普通棒石鹼の半額

太陽印洗濯 コナ石鹼

本品の特色

◎普通「シヤボン」の半額なり ◎悪臭なく使用便なり ◎洗濯用として實用的なり ◎普通「シヤボン」の如く洗濯物に班點を殘すことなし ◎品質を損せず手荒ず ◎白衣油衣に特効あり ◎消毒を兼備し衛生に適す ◎食器を洗ふに便なり ◎如何程汚れ居る衣類も過度の分量を要せず ◎一度使用せし水も泡の立つ内は効力あり

定價

ボール箱入 大箱 **金拾錢** 小箱 **金五錢**

家庭徳用品 壹〆匁入 **金九拾五錢** 市內送料無料 地方送料廿八錢

五百匁入 **金五拾錢** 市內送料無料 地方送料十六錢

◎販賣處ハ全國到ル所小間物化粧品雜貨賣藥店ニアリ
◎販賣希望ノ方ハ申込アリタシ
◎注意近頃類似ノ粗惡品アリ
◎太陽印コナ石鹼ノ商標ニ注意アリタシ

赤坂區青山北町二丁目六番地

太陽印コナ石鹼 **發賣元** 合資會社 **柳屋商會**

電話芝二八四八番 振替東京五二七四番

意外の好評

君はリンビヤウで困つて居るかい、それぢや早速あの意外を飲み給へタヤスクなほるよ……

僕も先達ひどいリンビヤウでれ！いろ／＼の藥を飲でみたかどうもヨクナイ實に困つて居つた處がチヤウド僕の友人が來て君リンビヤウならあの東京淺草區並木町二十二番地岡田順天堂の意外をのみ給へ容易にナオルと云ふから二三回買つてのんだら今では治つてせい／＼した

定價は試用三日分六十五錢・七日分
一圓四十錢・二週間分强二圓八十錢

よ君僕にだまされたと思つてまあ一つ買つて見給へ淋病消渴には意外に限るよ
市内なれば（電話下谷一三八二）又はがきで注文すれば直に屆けて呉れます地方は（振替口座東京五九八六）又は郵便爲替にて送金すれば直に送て呉ます全國有名藥店にあり

かつけには克快丸

かつけにて手足しびれて、だるく、或はむくみ、膝かくつけ、動悸、息切れ、あり、毎年發し或は新に發せし人も克快丸を服せば、しびれ、あるものは、しびれを、むくみ、あるものは、むくみを去り治癒す、

陸軍々醫總監
林紀先生御傳方

◉**リウマチス**にて手足膝腰ふし／＼痛み時季の變りめに筋骨痛み關節筋肉リウマチス、風濕、風毒、痛風慢性三年若くば五七年毎年發病し頑固にて治せざる人は克快丸を服せば治す。各地藥店に有り

七日六十錢　十五日一圓二十錢　三日半分三十五錢　直接注文送料二錢

◉ひえしつ梅毒下し

ビックリ丸

◉こんなにきく藥は珍しい體内の諸毒を毛穴と大小便よりトル瘰癧、胎毒、淋病消渴、くさ、ふきで物、耳なり、仙氣寸白、腹はり腰痛み、腦病の如き頭痛を

月經不順

治す全國有名藥店に有り

▲ビックリ丸廿錢卅錢五十錢一圓試用十錢

本店東京淺草並木町　岡田順天堂
支店大阪高麗橋松屋
電話下足一三八二（振替東京五九八六）

特約店

神田鍋町大木、神田橋本町稻井、日本橋通中田、下谷御徒町中百、牛込通寺町柴田、芝濱松町栗田、吉原大門中根　赤坂八百勘店前ホーコー

學習院教授
帝國大學講師
鈴木大拙先生新著

禪の第一義

四六判箱入
定價金壹圓
郵税金八錢

禪は東洋に於ける精神界の特產なりしかも從來誤つて山林の徒のみによりて拈弄せられ活きたる人生と殆ど沒交涉なるかの觀ありしは蓋し未だその第一義を闡明しその着手の處を說述することの徹底せざりしに基せずむばあらず著者參禪辨道三十年その實驗の歷程を精敍しその所得の公案を解說し一は以て初學者の指針となし一は以て人生の苦悶を除去せむとす不立文字敎外別傳の禪も本書出でてその近代的色彩の頗る鮮なるものあるを看取し得む

鈴木大拙先生著
スエデンボルグ
定價五拾錢
郵税六錢

大內青巒先生著
禪の極致
定價六拾錢
郵税八錢

鈴木大拙先生譯
阿彌陀佛
定價卅五錢
郵税八錢

加藤咄堂先生和譯
和譯維摩經評註
定價七拾錢
郵税八錢

東京小石川區原町六
振替東京一五六八六
丙午出版社

振替東京一三五三
東京小石川原町六
鷄聲堂

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

俳味

毎月一回 一日發行

六月一日發行 第五十號

□腰張……高安月郊
□來山に就て……志摩烏阿
□元政忌……蕃雨樓
■私の扮した惟然坊……東儀鐵笛
■惟然坊に扮した東儀さんへ……若月紫蘭
■東儀さんの惟然坊……藤澤古雪
■上場されたる惟然坊……長尾素枝
■舞臺の惟然坊……沼波瓊音
□炭酸瓦斯……岩田月葉
□私解芭蕉の發句……沼波瓊音
□寺の本堂より……都田蠻六
□汁粉餅譜……草花房
□食餌半歌仙……杭晋房

附録
■獨女房（小説）……沼波瓊音
■晝寢櫻（脚本）……大西一外

定價	本號に限り金三十五錢	一部廿錢 郵税一錢	半年分（税共）金一圓	一年分（税共）金二圓

發行所 東京本郷區西片町十番 振替東京三四三四番 俳味社

外出がちの私の顔がこんなに美くしいのは此の化粧水？成美液よ！兄さんもお父さんも内々の愛用家なのよ

▲成美液を用ふる男女は何時も顔が艶麗で日にやけることもなく白美を保つは外用劑として完全なる化學的白色新劑なり先一瓶を試せ

僕のにきび顔が斯く迄に綺麗になつたは矢張成美液の御蔭です、

定價小瓶十二錢◎中瓶廿五錢◎大五十錢◎持大壹圓◎送賃四錢

◎月やくの

止つた時程婦人の一大事はありません若し妊娠であれば猶身體に異狀が起る爲食物にまで變りがあります又不順でも閉止でも藥療を怠れば子宮病其他種々の病を誘發す故に月經あるべき時期に無くて逆上頭痛其他身體に障り起つた時は一日も早く專門博士の證明された奇藥流經散と云ふ信用ある藥を用ひなさい。

此藥なら胃腸を害す副作用もなく安全に流下し子宮も健全になる事ほんとに不しぎの樣です藥代は一週金三十錢二週分六十錢四ケ月以上閉止の方は必ず特製金壹圓送料二錢で送り升（切手一割增）

▼毛はいぐすり

本劑は多年經驗の化學的作用の毛はい藥にして毛の薄き人。腫物の跡。はひぎわの惡しき人是を付ればはやし艶をよくす藥價小瓶卅錢中瓶五十錢大瓶一圓特製貳圓送料貳錢

子宮サック

甲種一個壹圓◎乙種七十五錢丙六十錢送二錢

ゴム製にして婦人衞生上必要の良器之を用ひれば淋毒梅毒の傳染を防ぎ月經時には經水の漏洩を防ぎ立居を便ならしむ委細は本品に添ある能書

▼諸粹藥案內切手貳錢郵送進呈す▲

東京市神田區五軒町
振替東京四六七一番
寶順堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て相談を受け、色々注意をしてやつと當り前の小供にした。

と説かれ、尚ほ兒童運動場の必要に就てお話があつた。

アンニー夫人の事業に同情せよ

獨りアンニー夫人のみならず、先達新渡戸博士夫人は惡車夫取締に就て運動された。日本人に嫁せる外國婦人の社會運動を、日本婦人が坐視して居るとは何事です。日本婦人はまけぬ様に、社會の爲めにも立ちて盡さねばならぬ、少なくともアンニー夫人の事業の如きに同情と援助とを與へなくてはならぬ。

米國婦人倶樂部の勢力

婦人倶樂部は、初めはお互に智德の進歩を計らうと云ふ、自修の目的で起つたものでありましたが、其後倶樂部の數が增えて、千八百九十二年の婦人倶樂部同盟の出來てからは、自修と云ふことよりは、社會の爲めに盡すと云ふことが、重なる目的となるに至りました。而して過ぎし十年間に、此の婦人倶樂部同盟は米國に於ける一勢力となるに至りました。

例へば、飮食物取締法案が議會で破れんとした時、婦人倶樂部同盟は熱心な運動を始めて、遂に此の法案を通過せしめました。ルーズベルトが大統領たりし時、パナマ地方の社會問題を解決しようとしたが、其の時に彼は之れを第一に婦人倶樂部同盟のヘレン・ボスウエル嬢に計りました。又ルーズベルトは其の官邸で知事の會議を開いた時、婦人倶樂部同盟のデッカア夫人をも招待しました。大統領タフトがパナマ運河地方を巡回中にも、婦人倶樂部同盟のモーア夫人を招きましたが、彼女は巡回中、大統領及び其の夫人と、同等の禮を以て歡迎されました。又ワシントン州が兒童局を所設せんとした時、其の局長の任に堪ゆる婦人の撰定を婦人倶樂部同盟へ依賴して來ました。其他、敎育、慈善の大集會のある毎に、辯士と事務員の撰定を婦人倶樂部同盟へ依賴して來ないことはありません

今や米國に於ては、婦人倶樂部の勢力は、之れ程まで進んで來て居るのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カシタンカ

チエホフ作

第九

『ジョルヂ君、何卒！』と、誰かゞ戸の際で叫んだ。

主人は立上つて三度十字架を畫いて、それから腰掛の下から猫を引出して鞄の中に入れた。

『さあ、お出で、小母さん！』と、主人は又靜かに小母さんに云つた。

小母さんは何にも解らないで、彼の手に行つた。主人は小母さんの頭を接吻して、フェオドル・テモフェーキチと並べて鞄に入れた。後は急に薄暗くなつて了つた……小母さんは猫を足で踏んで、鞄を引掻いたが、鞄は波の上にでも漂つてゐるかのやうに動搖いた……

『さて、今度は拙者が相替りましてお目通りを致します！』

と、主人は大きい聲で云つた、さうしてその後鞄は何か堅い物に打當つたが、動搖るのはもう止つた。どつとどよめく聲がする。誰かを打つ音が聞えた。さうしてその誰かを打つたのは、これを屹度あの顏の肥つた、鼻から尾の生えてる怪物だらう、さうだそれが大聲で叫んで、大聲で笑つた、鞄の錠ががちや／＼する程に笑つた。この笑聲に對して主人は、毎も家にゐては出したこともないやうな、頓狂な、きん／＼した聲で笑つて答へた。

『さあ！』と主人はかの叫聲を負かすやうな大聲を張上げた。『諸君！拙者は只今停車場から參りましたばかりで

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御座ります！所で、え丶、拙者の祖母がつひ近頃、死去くなりましたやうな譯で御座いますが、その祖母がです、拙者に何か其のまあ遺物と云ふやうなものを殘しましたので御座いますと思召せ！　さあ、それがこの鞄で、然もそれが素敵に重い、重い鞄なのでしてな、いやどうも、多分こりや金貨で丶も御座いませうなあ……さあ！奈何です！　こ丶に只今ひよつこりと百萬圓も轉がり出ましたら！　まあ〳〵ともあれ只今拙者がこれを開けましてお目に懸けます……』

鞄に錠の音がかちやりとした、矢庭にぱつと明るい光線が強く小母さんの眼を射つた、小母さんは眼が暉んだま丶鞄の中から飛出した。すると、忽ち耳も聾ふるばかりに、やんやと云ふ喝采の叫聲が揚つた。彼はいよ〳〵夢中になつて、くる〳〵と主人の周圍を疾駈しながら吠えた。

『いよう！』と、主人は驚いて叫んだ『これは小父さんフェオドル・テモフェーキチ君！　『いやこれは大事な大事な小母さん！　ほう、これはどうも、大事な親類達！

主人は砂の上に四つ這になつて、猫を捉へ、犬を捉へて彼等を抱いた。小母さんは主人に抱締められた時、ちらりと今自分が這麼異つた世界につれられた來てゐたのを見て、其宏大なのに膽を潰し、感心の餘り暫時は身動きもしなかつたが、やがて主人に抱かれた手から、すつと脱出して、まるで獨樂のやうに、くる〳〵と一つ場所を轉廻つた。この新しい世界は、宏く、大きく、場内は一ぱいの人で、晝のやうに明るかつた。何處を見ても、下を見ても、上を見ても、たゞもう人と、人と、人の顏ばかりであつた。

『さあ、小母さん、どうか坐つて下さい！』と、主人は叫んだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小母さんは初めて腑に落ちた。直ぐに椅子の上に飛上つて坐つて、主人の顔をぢつと瞶めてゐた。主人の眼は矢張毎ものやうに眞面目で、優しかつたが、顔が何となく總體に變であつた。口附だの、齒だの、何だか殊に變であつた。顔が平べつたくなつて、動かない微笑をしてゐた。さうして主人自ら大笑をしたり、飛んだり、踏ねたり、肩を聳らしたりして、如何にもこの群衆の中に立つて愉快で堪らぬと云ふやうな風であつた。それで小母さんも矢張愉快のやうな氣がした、急に彼はこの大勢の顔と顔が皆今自分に向けられてゐるのだと、はつと全身に泌み渡る程に感じた、さうして其狐のやうな自分の顔をぐいと持上げて、嬉しさうに唸つた。

『小母さん、君はじはらく坐つて待つてゝ下さい、私は今小父さんと些とそら、カマリンスキイの舞踊を遣るからね』と、主人は云つた。

フェオドル・テモフェーキチはこの馬鹿らしい藝當を何時遣らせられるのかとのやうな顔で、待ちながら立つてゐた。彼は奈何でもいゝと云ふ風で兩側をちよい〳〵と見てゐた。さうしていや〳〵、不注意に、不興氣に、又、その尾でも、髭でも、何處から何處までもに、すべてを輕蔑してゐると云ふ樣子をよくあらはしてゐた、この大勢の群衆をでも、明るい灯をでも、主人をでも、自分をでもさも〳〵皆輕蔑してゐると云ふ風を……自分の分を踊り終つて猫はやれ〳〵と云ふやうに欠をしながら坐つた。

『さあ、今度は小母さんどうぞ、だがね私達は初めに一つ歌つて見ませう、それから其の後で舞踊をやりませう、いゝかね?』

彼は隱から笛を出して吹いた。小母さんは厭な音樂を鳴らされるので、堪らないやうに椅子の上でもぢ〳〵し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ながら、心配さうに唸つた。其時四方から拍手喝采が湧くやうにどよめき渡つた。主人は鄭寧に禮をした、さうして其鳴がすつかり靜まつた時、又も笛を吹き出した……　其時、恰も演奏の最中、何處かずつと高い場所の人込みの中から、誰かゞ大聲で、あつと驚喜の叫聲を上げた。

『お父さん！　なに、あれはカシタンカぢやないか！』と、子供の叫ぶ聲がした。

『おゝ、違えねえ、カシタンカだ！』と、醉漢の呂律の廻らない濁つたテノルの聲が、其れを確かめるやうに云つた。『うむ、カシタンカだ！　フェジュシカ、さうだとも！　ヒユー（口笛）！

誰か高い棧敷の上で口笛を吹いて呼んだ。二人の大きい聲が一人は子供の聲で、一人は男の聲だつた。

『カシタンカ！　カシタンカ！』

小母さんは顫え上つて聲のする方を見た。一人の方は毛深い、せゝら笑つてゐる醉漢、一人の方は、顔のむつくりした、頰の紅い子供で。と、見るより、小母さんは打たれたやうに吃驚して了つた、先に明るい燈の光に眼を打たれた時のやうに……　小母さんは其の誰なるかを想起して餘りの驚きに椅子から落ちた。砂の上で踠いた。が、忽ち躍り上つて、嬉しさうに鼻を鳴らして、其顔の方を目差して駈出した。群衆はわい／＼と騷いだ。さうして笛の突通るやうな音と、きん／＼した甲走つた子供の聲とが混つて響いた。

『カシタンカ！　カシタンカ！』

小母さんは仕切を飛越えた、それから誰かの肩を飛越えた、さうして上等棧敷に入つた、それは其上の二階に昇らうと思つたからで。だが其處には高い壁がある、それを攀登らなければならない、彼は幾度か攀登らうとし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ては舊へ辷り落ちた。其後、彼は人々の手から手の上に、或は誰かの手や、顔を舐めたりして、たゞもう上へ、上へと踏み越え、乘り越えて進んだ、で、とう〳〵上の棧敷まで登り詰めて入り込んだ……

約三十分計り經つた頃、カシタンカはもう糊と假漆の臭のする人の後に尾いて通りを歩いて行つた。ルカ・アレクサンドロヰチはよろ〳〵しながら、それでも經驗の上から自然に慣れて、濠の近くへは寄らないやうにつとめて歩いて行つた。

『我が母の胎内にゐる時より、え丶、罪の深みの中に溺れて居たり、か。』と、ルカ・アレクサンドロヰチは獨語を云ふ。『あ丶貴様カシタンカ、貴様なんぞは這麼ものだ、なあ、人間と貴樣を比べりや、さうよ、まるで建具屋と大工の違ひと變りやねえ。』

父の帽子を被つてフェジュシカも一所に並んで駈け出しながら行つた。カシタンカは二人の後に尾いて、その背中を見ながら、もう長い間彼等の後に尾いて行くやうな氣がした。さうして彼は何だか自分の生活が、些との間も途切れずにゐたやうな氣がして嬉しかつた。

カシタンカは、あの壁紙の汚れた室や、又鵞鳥や、フェオドル・テモフェーキチや、旨い食事や、稽古や、演藝場なんぞを思ひ出しただがこれらは皆今、彼には恰も長い、長い、こんがらかつた重苦しい夢のやうであつた。（終り）

瀬沼夏葉譯

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人俳句

すみ子選

春の夜や離れへ客の母家人　茂子
春の夜や門閉しに出て雨を知る　同
春の夜や女ばかりで留守居する　同
春の夜や眉落したる人の艶　同
蒲焼の團扇の冴えや夏に入る　猶一
夏座敷遠山うつる大鏡　ト碩
翡翠や柳を抜けて土手越えて　同
闇の窓押して待ちけりほとゝぎす　つや女
散る花に埋れて死なん願哉　とみ子
透る日に顔燃え立つや紅日傘　同
古寺の淋しき雨の若葉かな　同
噴水の飛沫に育つ若葉かな　同
たつ雁の消ゆる彼方や青嵐　とみ子
埋れて大佛暗き若葉かな　同
つゝじ生て此間明るくなりにけり　かめ子
明け易き背戸を出づれば綿の花　同
鷄蹴合ふ農家の留守や紅つゝじ　すみ子
停車場の柵に燃えたるつゝじかな　同
短夜は卯の花垣より白みけり　同
明け易き庭掃く所化の欠びかな　同
短夜に別れの曲を合はせけり　同

本誌擴張に就て

本誌擴張の爲め毎月御寄附下さる贊助金を今後は略儀ながら、誌上にて御禮をかね、報告を致します。贊助金は擴張の爲め本誌を見本として方々へ御送りする費用に當てゝ居ります、なほ御一人でも多く讀んで欲しいのですから、五部でも十部でも擴張費を御出し下さいまして、直接又は本社から御友人になり、知己未知の方を問はず御發送して下さる事を切に御願致します。

五月中贊助金領收

金貳圓也	毎月二十部づつ	日向きむ子様
金貳圓也	毎月十部づつ	三の村きよ子様
金六圓也	本年分	加藤咲子様
金拾圓也	毎月百部	高野重三様
金壹圓也	毎月十部	吉岡彌生様

■**社友の動靜**　新眞婦人の爲めにはいろ〳〵と御盡し下さいました、吉川たみ子さんは、御家族が先月上旬に御出立になつた、其の後仕末を獨り居殘つて片付けて居られましたが、いよ〳〵先月中旬夫人も御出發なさいました、これからは北海道北見の國で理想的農業生活をなさるのです、いづれおもしろい御通信に接する事を樂しんで居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人参政權論（上）

今回は米國第一流のプリン・マウル女子大學校の校長にして、又米國の「婦人参政權運動、女子大學校同盟」の會長たるトーマス孃の婦人参政權に關する演説筆記の大意を紹介して見ようと思ふ。

津田梅子さん、河合道子さん、内田康哉氏夫人、星野愛子女史等が、同校の出身者であるから、同校は我國に深き關係のある學校である。而してトーマス孃の如何に俊才たるかは其の年僅かに廿八歳にして撰ばれて同校の校長となつたのでも分り、又其の如何に熱心な婦人参政權論者たるかは「婦人参政權運動、女子大學校同盟」の會長たるにても分る。

勿論米國と我國とは大分、國情を異にし、且つ我國にはまだ婦人参政權問題は起つて居らぬが、早晩我國にも起つて來る問題であるから、今日之れを紹介するのは必らずしも無用のことではなからう。

高野重三

プリン・マウル女子大學校長　トーマス孃

（一）概論

千八百六十七年（慶應三年）にジョン・スチユワート・ミルが英國の國會で、婦人に参政權を與ふるの動議を起して、ソレを主張した時には

正義、公道と云ふことと、納税をするものは男女に係はらず、其の代表者を國會に送るの權利ありと云ふこととを根據として論じたものであつたが、今日はソウ云ふ理由の外に、過去五十年間、社會上の非常なる改革が、遂に婦人の参政權を餘儀なくせしむるに至つたと云ふ點から、モット有力に論じ得るに至つた。

即ち過ぎし五十年間に、第一には婦人の高等教育が著しき進歩を爲して、既に千九百八年（明治四十一年）には最も守舊的なるプロシヤの諸大學でさへ、男

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子の學生と同樣に一般女學生の入學も許すことになり智識の門戶は廣く開かれて、再びソレが閉ぢられる樣なことがなくなつた。最初は之れを許すに餘程躊躇したものであるが、今日は最早や婦人を智識上の伴侶として許さゝるを得ざる樣に社會が進步し、敎育ある婦人の說を、敎育ある男子が等閑に附することが出來なくなつて來た。

次に職業的婦人が大に增加して來た。私共の幼少なる時分には、餘りに職業的婦人を見なかつたのであるが、米國にては今日は數百萬の婦人が各種の職業に就事して居るのである。紐育にしても、費府にしても、又はボルチモールにしても、其の町、其の商店、至る所に職業的婦人を見ないことはないのである。婦人のタイピストだの、簿記方だの、書記だの、其他有りと在らゆる事務をとれる婦人を見ないことはないのである。從つて私共が夫れを好むと好まざるとに係はらず經濟上獨立したる婦人が續出して來ることを見るのである。斯くなつて來た原因の重なる者は、經濟上の事情が變つて、今日までは妻子を充分に養つて居た男子も、今では自分丈けの働きにては思ふ樣に妻子を養ふことが出來なくなつて來たことにあるのである。さればプロシヤ政府が大學の門戶を婦人にも開放する際に出た勅令の中にも

> 獨乙の高等なる職業に就事せる男子中、經濟上の理由の爲めに、次第に結婚を中止するものが多くなるに至つたので、婦人も大學の敎育を受けて高等なる職業に就き、以て自活する事の出來る準備をするの要あり。

との語が特に記るされてあるのである。

種々調査の結果、高等なる職業に就事せる未婚婦人の半分は、經濟上の理由によつて、殆んど結婚の見込がないと云ふことが明白になつたが、此の結婚の出來ない婦人は、生きる爲めに働くか、然からざれば餓死するより外に道がないのである。而して此の結婚の見込のない婦人は多く中流社會の娘であつて、勞働して自活の出來る勞働階級の娘と親兄弟から分產して貰う

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て生活の出來る上流社會の娘とはソレ程結婚に困難しないのである。英吉利にしても、獨乙にしても、合衆國にしても、此等の經濟上の事情の爲めに、結婚出來ない所の婦人が數へ切れない程あるのである。之れは國家の爲めにも實に憂ふべきことである。幸に伊太利の如きは、婦人が結婚しても就ほ學校の教師として働くことが出來る爲めに、幾分此の困難を緩めて居るが英吉利、獨乙、米國等に於ては、女教師は結婚するや否や辭職しなければならぬのである。結婚と云ふことに辭職と餓死が伴ふのてあるから、恐ろしくて結婚の出來ぬワケである。斯かる次第で兎に角婦人は働いて自活せねばならぬ狀態になつたのであるし、又幸に結婚が出來ても、夫婦共稼ぎをせねばならぬ場合が多い夫等の婦人は子を生み、又育てる爲めに、其の働きが餘程妨害さるゝから、平常市場に於て其の勞働に對し割のよき賃銀を得る事の出來るようにして置かねばならぬのである。ソコで婦人に參政權を得せしむると云ふことを何所までも計らねばならぬのである。之れは婦人全體の問題である。故に私共婦人はたゞ傍觀するワケには行かぬ。

之れは第一に婦人の爲めであると同時に、又私共が現代の國家の市民として是非とも得ねばならぬ權利である。年々歳々增加しつゝある幾百萬人の婦人勞働者の利益を保護する爲めに、どうしても參政權を得るの必要があるのである。例へば男子の勞働者にして見た所が、投票權を以て他の男子の壓制若しくば不正に對する最も大なる防禦策として居るではないか、今日は米國のドノ政黨にしても其の宣言の中に『勞働者より選擧權を剝奪すべし』なぞと云ふ項目は有して居ない私共は社會上の利害に就ては、私共の見聞したる事實によつて論じならければならぬのであるが、若し私共の見聞に過ちなしとせば、男子の普通選擧は最大多數の男子に最少なる不公平しか與へて居らぬではないか。凡ての歷史、殊に近世の民主政治は、凡て選擧權のない階級は、其の階級の勞働を保護することの出來ないことを證據立てるではないか。一部の男子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は其の同性中、選擧權を有せざる階級に、不義、不利益を與へたではないか。されば將來に於て選擧權なき婦人勞働者に對して不義を働き不利益を與へぬとは云へぬではないか。過去に於て投票權が個人又は階級の利益を保護するに必要であつたとせば、將來に於ては益々其の必要を見る次第ではないか。

『凡ての婦人は男子の誰れかによつて保護されてるから別に婦人自身に選擧權の必要がない』とは、能く耳にする言葉であるが、假りに保護されてるとしても、私共はこれを我儘なる男子の手に委ねて安心して居るのは賢明なる仕方であるとは、思ふことが出來ないのである。而かも實際に於ては、現今世界に男子によりて何等の保護をも受けて居ない婦人が數百萬人もあるではないか。彼等は自から自分の食ふパンを得なければならぬのである。若し自由に勞働すること出來れば、兎も角も正しき勞働によつて生活出來るが、之れが妨げらるゝ場合には、正しき道によつて生活することは出來ないのである。

素人料理半會席

夏季お客用道具

（地方送料金五拾錢）

△別莊用に極御便利です

申込は只今

七月分豫約賣

申込は只今

特價（金五圓）箱入

廿五個揃	
一人附皿	五人
向附丼	五人
吸物茶碗	五人
御膳茶碗	五人
小皿	五人

○組合は三銀の意匠におまかせ願升

○豫約內金貳圓申受升

○送品と殘金は七月初

新橋 三銀

○鐵道舟遊 旅行用茶道具

（地方送料金參十錢）

籠入
急須
茶碗
茶入
茶巾

○鐵道、舟遊、山遊、お芝居等お好のお茶があがれ升（金貳圓）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論八ツ當り

（婦人論に關する有觸れたる誤解）

八方醜婦

今度はドーした譯か雜誌類に餘り婦人論を見當らず、只僅かに「婦人評論」に二三掲載されしのみで、其内の早川鐵治氏の御議論は大に八ツ當りに當つて見たい樣な氣もしましたが、餘り毎月同評論計りを相手に喧嘩する樣に思はれて、面白くありませぬから、今度は一寸一息して、其代り此頃の婦人論に誤解が大分ある樣に思はれますから、少し之れを辯じて見たいと思ひます。

此の一兩年來我國にも婦人論が盛んになり、甲論乙駁、殆んど底止する所を知らざる有樣で、私なども時勢にカブれて此の壇上で天下の「婦人論反對説一手引受所」とも云つた格で盛んに氣焔を吐いてゐますが、全體婦人論を稱ふる人の内にも、又之れに反對を表する人の間にも同樣に種々誤解があり、其爲め的なきにムダ矢を射り、敵なきに漫りに攻撃な迂ふし、双方無用の辯を弄する人も追々ある樣にも見え、殊に反對論を稱ふる人の内に最も多く其弊を見る樣にも思はれます。幸に此誤解が正され、明瞭に此の問題の眞相が双方に判明すれば、餘計な議論をする必要もなくなり、冷靜に其善惡邪正の研究も出來る事と思ひます。依つて私の氣付きました事を三四左に八ツ當り式の句調で御參考迄に申上たいと思ひます。

一、婦人論は婦人の獨身主義を皷吹するものだと多くの人は思つて居ます、何故そんなに思ふのか明かでありませぬ。が、兎に角そんなに誤解して大に恐慌を起してゐる人が澤山あると見えて、婦人論が盛んになると、人口が減るとか、結婚は人倫の大本だとか、妻となつて夫と同棲し、子を生んで之れを育て、先祖の祭を絶やさぬ樣にし、人類の增殖を謀るのが婦人の天職であるとか云つて、恰かも私共婦人を生兒器械でもあるが如く思ひ、甚しきは婦人論を此頃の發疹チブス肺ペストの襲來の樣に恐れて居る人が隨分ある樣です。トンデもない話です。佛國は婦人論が盛んにならない時分から人口は減る國です。野蠻人程子を澤山生む人種はないのです。子を澤山生む計りが能ではないのです。數少なくとも強健、善良、優秀なる子を生む方が、本人等の爲めにも、又國家の爲めにも、人類の利益にもなる事ですそれに男女兩性は異性間に於ける一種の引力によりてお互に是非引き付けらるゝものです。其引力には素より上下もあり、結婚同棲の形式は國により、人により、時代により、又其時の事情により種々異なるにしても男女は何等かの形式の下に大多數は一所になる特性を持つてゐるものです。少しも心配するには及ばないのです。此特性を否定する人は氣違か馬鹿の外はないのです。婦人論か如何に盛んになつたからとて此の特性が消滅せしむる事は出來ないのです。併かし今日の婦人は昔の婦

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人とは違ひます。今日の時勢は昔の時勢とは異つて居ます。風俗も習慣も、思想も大分變つて來てゐます。それにも關はらず昔の主從君臣の如き關係、甚しきは下女か、奴隷か、家畜か、物品のつもりで男子と結婚同棲せよと云はれた所が、今日の婦人がイヤだと云ふのは當り前です。そんな狀態の下に一所にならなければ、到底男子と一所になる道がないならば、一層の事獨身で氣樂に一生を暮らしたいと今日の婦人が云ふのは無理のない話です。婦人に取つて男子程よい者はないのです。男子と同棲する位婦人の理想として又希望として喜ばしい事はないのです。それにも關はらず獨身で一生を過ごす氣になるのは、抑も誰れの罪でせう。婦人は自ら好んで獨身主義を主張するものではないのです。男子が之れを主張するを餘儀なくせしむる樣にするのです。現今の婦人論が之れを鼓吹するのではないのです。男子が勝手に之れを鼓吹する樣に仕向けるのです。現今の異つた時勢に適應する樣に男子が自分同樣に今日の婦人の人格を認め、之れに相當する待遇を與ゆれば獨身主義も何もあつたものではないのです。萬一にも男子の方で氣まぐれに自から獨身主義を唱へたからとて、婦人の方でアーそうですかと承知するものではないのです。此理合を悟らずして百萬遍天職呼ばりしたからとて何の役にも立つものではないのです。それに反對論者は俗耳に入り易い樣に始終「婦人の天職」と云ふ語を使はれますが、私共は成程結婚は婦人の天職の最も大事なるものの一と思いますが、其全體とは思つて居ませぬ。若し論者の說が正いとすれば、何かの事情で結婚が出來ず、又結婚せないものは論者の申さるゝ婦人の天職を盡す事が出來ず、全く社會に無用の人となる譯ではありませぬか。そんな阿呆な事は私共は信ずる事は出來ないのです。又子を生む事が婦人の唯一の天職だと云ふならば結婚して子の出來ぬ者は婦人の天職を盡さぬ人と云ふのですか。又二三人しきや子を生まず、多くの殘年を子を生まずして暮らす婦人は最早婦人の天職を盡す事が出來ぬと云ふのですか。婦人論者は婦人の天職はソンナ狹まい意味のものとは思つてゐないのです。反對論者は或はソンナ婦人は例外だと云はるゝかも知りませぬが、經濟上其他の理由で其例外と云はるゝものが益々通例となりつゝありませぬか。

私共は獨身主義は說きませぬ。而かし自立主義は主張します。私共は自分を一個の人格と思つてゐます。故に男子の寄生的動物となるのはイヤです。肉體も精神も確固たる一個の自立したる人間となりたいのです。男子と對等に交際もし、事業も倶にし、其資格で結婚もしたいのです。今日の男子がそんな婦人を好むと好まざるとは私共の知る所ではありませぬ。私共は自己の人格を滅却しても男子の奴隷となりたくはありませぬ。而かし私共の如き新らしき婦人があると同時に、調度其樣なる見識の高き生氣のある婦人を好む「新らしき男子」が段々增加しつゝあるを確信するのです。獨身と自立は大へん違ひます。此自立主義が現今の婦人論の骨子であります。

二、現今の婦人論は我國の家族制度を破壞す

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ろものだとの誤解があります。之れは先月中の「婦女新聞」に本誌の賛助員たる高野重三氏が「婦人問題早わかり」中に詳論せられて居られますが、私共も全然同感です。我國の家族制度は婦人論の起る起らないに關はらず、其他の事情で大分最早破壊せられ、終には全然破壊せられ終る運命を以つて居ると信じてゐます。それに眞に圓満幸福なる家庭を遣らんと欲せば、其家庭内の男女老若を問はず、一同の人格を認め互に表べの服從にあらずして心からなる悦服又は情愛によりて結合するにあると信じて居ます。殊に婦人が其人格を認められず、常に奴隷扱ひにせられてゐる内は眞の圓満幸福は其家庭には得られないと思つてゐます。

三、現今の婦人論は無暗に男子に反抗するものだとの誤解があります。之れは前二項で云ひました通りとすれば婦人に於ては何等其意志はないのです。而かし今日の婦人が昔の婦人に比し大に進歩發達してゐるにも關はらず、ヤハり昔の儘に濫りに之れを抑壓せんとせらるれば、自然其反動として反抗する姿になるのです。而かし私共の人格を認め、それに相當する待遇さへされれば、悦んで服しもし尚ほ犠牲を拂ふを厭はぬのです。私共は死したる服從意義なき犠牲は眞平御免です。人生意氣に感んずで、私共の人格を認め心からなる眞正の愛情を注がるゝ男子の爲めには、服從は愚か水火の中にも喜んで飛込む事を辭せぬのであります。

四、新らしき婦人は男子と職業の上に競爭するとの非難があります。私共は何等競爭の意志はありませぬ。而かし私共は一生男子の寄生的動物となつて一生をムダに過ごす事は個人に取りては墮落となり、社會に取りては其衰亡の原因となると思ひ、務めて力役なり、又は智的の勞働に服し自分の肉體及び精神の壯健、幸福及び社會國家の發展を謀りたいと願つてゐます。且つ需用の起る所に供給が伴ふ迄です。昔は農業も、醫業も、紡績も、繪畫も、普通の工業も總て婦人の職業でありました。後日に至り男子が專ら此等をなす事になりました。現今の時勢が又婦人をして再び昔の職業的生活に逆戻りさす事になりました。之れは寧ろ賀す可き事で憂ふ可き事ではありませぬ。強いて之れに競爭の名を附する事にすれば、婦人が此競爭をなさずとも男子間に於て最も劇烈に之れが行はれてゐるのです。而かし誰れも男子が自ら好む職業に從事してならぬと云ふ者はないではありませぬか。尤も男子間の競爭にも既に耐へ難きに更に婦人も其渦中に投ずれば其混雜弊害は測り知る可からざるものがあるとの議論をする人が或はあるかも知れませぬ。而かし物は停滯すれば腐敗するに極まつてゐるものです競爭は進歩の一方法とも見てよいものです。婦人の職業に入る事になつたのは時勢です。何にも男子が弱音を吹くには及ばないのです。愚痴は男子の禁物です。宜しく氣を大きくして此競爭を善用して社會國家の進歩發達を謀る可きです。

五、先日或人は新らしき女を評して「仕事は出來ず、妻となり母となるのはイヤ。。、それで

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

好い着物は着たい、贅澤な眞似はしたい、我儘勝手な行はしたい、甚しきは酒を飲みたい、輕浮な齒の浮くやうな氣焔は揚げたいと云ふ穀つぶし」であると評して居られましたが、呆れて物が云へぬとはこんな反對論者の事を云ふのでせう。誤解も茲に到れば最早極端でせう。妻の事や母の事は前陳の如しです。私共は屢〻繰返へして申せしが如く放逸の寄生的生活を送るのがイヤで意義ある生活を求めてゐるのです。故に私共は極力婦人の勞働を鼓吹してゐるのです。論者は未だ新らしき婦人と新らしからざる婦人とを區別するの能力なく、十把一からげに物事を論斷する人と見えます。成程新らしき婦人と稱するもの丶内には間々遊蕩放逸の生活をなさんと欲するものもありませう。恰かも男子の内に自由を唱へながら人もなげなる勝手な眞似をする人があると同じです。之れは双方とも其主義を穿き違へてゐる人のする事です。眞面目に論ずる程の値打のない人です。

之れを要するに今日の婦人論者は獨身主義を鼓吹せず。家族制度を破壞せんとするものでなく、又殊更男子に反抗を試みんとするものでなく、濫りに男子と競爭をなさんとするものでもなく、怠惰虛榮は其最も忌む所である事が明了に判れば、最早私共の婦人論の大旨も中ば解つたと云つてもよい位のもので、從うて今日頻りに新聞雜誌等に見ゆる反對論は多くは此等の點の誤解に基づけるもので、世人が正當に私共の婦人論を理解せらる丶事になれば無用の反對論も全然止まるのみならず寧ろ大に其人方の贊成同情を得る事あるを確信して疑はないのであります。

草花利用の廣告

街樹の周圍に草花を植ゑるの風は、二三年前は、銀座で見るのみであつたが、近頃は大學前の通りでも見るに至つた。

商店の飾り窓の中に、草花、盆栽なぞを置くの風も、近頃始まりかけて來た。今に呉服屋などで、新柄の陳列と並べて、其の柄の實物を陳列し、以て人の注意を促す工夫をするに至るだらうとのことである。

牛込見付當りから四谷見付に至る、アノ土手へ、つつじかなにかを、クラブ齒磨とか、ライオン齒磨とかの字形に植ゑて咲かせる樣な廣告法も流行するに至ることであらう。

西川光次郎編輯

自働道話

毎月一回、十日に發行します、十部十錢、五十部以上一部五厘の割

平易に修養、處世、家庭の改良等を説く雜誌で、近頃流行の自働器に入れて市内の要所にかけおき、一錢入れると出て來る樣に仕組ました所から斯く名づけたのです。外に有志の方に數百部づつ御引受け御配布を願ひ何萬と云ふ程出して見たい希望なのです

東京本郷區駒込林町二〇六

自働道話社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

故郷より

有田倭文子

雲母の樣な都會生活から退がれて暫時自然の天地に親しむべく私は故郷に歸りました、次第に頽廢して行く故郷の輪廓！沈默の底に吐息する樣な村の背景！されど荒み行く故郷の山水には一種のチャームがありますあの山あの川邊、あの空氣、次第に忘れむとする私の心を囚へるには充分でした。夕日が西の山の頂きにオレンジ色にうつらふ時、小高い丘に立つて忘れられぬなつかしさと親しさとを感じられずには居られませんでした。久し振りに歸つて來た、私の目には、すべての變化があまりに急でした。朽ちた橋がいさゝ小川に架つて居て、繁つた夏木立の間にたゞ藁葺の家根が此處其處に點綴してゐる寂寥な一寒村に過ぎませんが人は思ひ思ひに自分の生れた故郷を慕つて多年交はつた友にも別れを告げて歸つて行くのは何の爲めでせうか、初夏の雲が大空に浮動して廣い野原には月見草がユラ〳〵して居るときは、誰れしも深い濃厚な感慨を催すものであります。曾つては里川に映る雲の影を無心に眺めた日もあります。晝の光が次第に衰へて川畔の草の葉に、夕暮方の風が吹き渡る頃、桑の葉を籠一杯摘んで、遠く野路の並木の上に照る赤い夕雲を眺めながら、我が家の方をさして行くと、誰れよりも先に私が行水を使はせられた少女時代もありました。

其時には杉の木の上でケンケンケンと蜩の啼く聲が聞えた、東山の一角が紅く夕日に彩られていたが、いつしか其餘光はうすれて、涼しい風が見渡す限りの青田の上を波立てた景色もきれぎれに思ひ出られます。つまり故郷には追懷があります、平和があります、慰籍があります、休息があります、されど汽車が出來、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

電信がかゝつた文明の今日では、昔のやうに故郷に對するロマシチツクな神秘的な信仰といふものが亡されて仕舞つた樣に思はれます。故郷を有せざるを一種の誇りとする樣な主義主張もある樣に見受けますが、これ等は郷黨骨肉を呪ふミスアンスロピストでありませう、それで私は或る意味に於て心靈の故郷と共に有形の故郷を有せざるコスモポリタンを悲しく思ふのでございます。

早くも日は立ちて最早や十四日許りも過ぎました。全くの暇ですから精神的生活は廢して專ら物質生活にのみ耽溺しています。胸中たゞ雲漠々、希望もなく理想もない、漂然たる生活、梢を走る白い雲が限りなき慰籍であります。

然し我等若人の力は抵抗であります。春の長閑な暖かい日に何等の力をも覺えなゐで、吹雪の烈しい夜、北極星を吹き落す凩の時、乃至はぢり〳〵と照りつくる眞夏の日盛りに生きているんだとの自覺を得るのはこの證據であります。從順な鳩の如き生活は懐かしいけれども、パールに憬るゝ私には何等の意味もありませむ、朝暉に向つて怒號する白熊の、氷山の上に四肢を張つた姿こそは尤も慕はしい生活の態ではありませんでせうか。

あゝ若き日の追懷ばかりしも悲しきものはありますまい、波は淘去し淘來す、われは何處より來つて何處に行くや、それは千古にわたつて解け難い謎であります。永遠にのり來つて永遠に行くと云ふ漠然たる解答では、私に滿足を與ふる事は出來ません。何處より來るかは知りませんが、何處を過ぎつゝあるかは知つています、永遠と永遠との二つの雲の間に、私は立つて居ます、それは現實の道である。私の歌は雲の中へ突き込む事が出來ますけれど、私の足は堅い道から離すことは出來ませむ、足を放した時は現實生活から死する時であります。

種々とくだらぬ事を書き立てましてこれで筆を洗います皆々樣によろしく。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大阪の女

霜野せき子

一、吉弘白眼氏夫人

誰れやらの句に『掛乞の眉うつくしき女かな』といふのがあります、之れは上方女のつもごりに掛乞ひに行く態を詠んだもので、島田に結うた娘さんが財布持ちたる丁稚を連れたる、丸髷の内儀が拔衣紋して掛乞帳面さげたるなど東京では見られぬ時代畫と思ひます東京で掛乞ひに行く女は待合の女將か女中で素人には少いのですが、さすがに富の都、黄金白銀の花咲く浪華津には、此の眼慣れぬさまが、ひどく人の心を曳くのです。

　上方女は東京の女と違つて、意氣で、さばけて、氣前宜く、一寸と羽織を質に入れて寄席に行かうといふ面白い處はありませんが、いつも暮らし向きを大事に二六時中、商買といふことに心を離さず、夫の事業をいつかな成就させやうといふ、女ながらも勇ましき心根は、亭主のお藥をいたゞいて歸る途中、役者の顏見世に見惚れる東京の女とはちがひます。

　大阪の名ある紳士紳商の夫人にも、女ながら夫の事業を扶けて、骨身惜まず立ち働き、夫の頭に成功輝ける冠をいたゞかせた人も少くはありません、今は亡き阪神電車の社長今西林三郎氏の夫人なども、夫の事業は其の功を半は分つべき人でありました、今西氏は伊豫國宇和島の人で郷里の先輩土居通夫氏をたよつて其の下男となり、夫人は同じ家の女中でありましたが土居氏の仲人にて夫婦となり、共稼ぎの憂ひも辛らいも仕つくして、漸く夫を大阪財界に旗上げさせ、之れから骨休めといふ時、遂に病氣で亡くなりました、其

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の夫人の四十九日に、今西氏が『亡き妻を偲びて』といふ夫人のいさをしを書きつらねた本を知己友人に配られましたが、其の本を讀んで見ると、いかに夫人が夫の爲めに身も心も投げかけて苦勞あそばしたか、私はつく／＼泣かされました。

併し之れは今西氏一人ではありません、今西夫人は上方女のタイプであります、上方には此のやうな婦人は澤山あります、大阪日報の社長吉弘白眼氏の夫人の如き、世間では餘り評判はしませんが、夫を扶けて、其の事業を今日あらしめた、立派な上方の代表的一婦人です。

吉弘白眼氏は日本新聞界のハーストともいはれる人で、一人で三つの新聞の持主であります、大阪日報の社長で、梅原龜七氏の帝國新聞を譲り受けて改名した大阪日日の社主であります、此の新聞の社長は衆議院の副議長關直彦氏になつてゐますが、たゞ其れは名を假りたばかりで、實權は吉弘氏の手に有ります、其れから京都に京華日報、この社長は藤木なにがしといふ吉弘氏の門下生の名義になつてゐますが、實際の權利は吉弘氏が持つてゐるといふことです、このやうに一人で京都大阪に三つの新聞を持ちながら、尚ほ東京に名古屋に、仙臺に、廣島に、日本各地の目拔きの都會に自分の機關新聞を持たうといふ計畫をしてゐますから、若し之れが實現されたなら日本新聞界の記錄を破ることでせう。

吉弘氏も今は大阪の新聞界では名物男になつてゐますが、今から二十年前には、見るもいぶせき家に起き伏し、一升買もしかぬる淺ましい生活であつたといひます、夫人は其の頃吉弘氏に嫁がれたのです、夫人は河内の人で、純粹の大阪人ではありませんが、其の才彈けて、何事も器用に立ち廻はる處、田舍人とは思へない發明な方でした、吉弘氏は其の頃から獨力を以て新聞を初め、貧苦を忍んで初一念を貫かうとしたのですが、何分にも資本がつゞかぬ爲め、度々仆れては起き、起きては仆れるといふ風でありました、その時夫人は自分の嫁入りに持つて來た着物は皆んな夫の事業

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の資本にと質に入れたり、賣り拂つたりして、殆んど着換へもない位、一枚の着物を、夫が着て新聞社に行けば家に歸つて夫人が其れを着るといふ迄に、貧乏といふ貧乏を仕つくしました。

併し夫人は夫が新聞の經營に驚くべき天才のあることを知つてゐました、どうしても夫を新聞界に推し立てゝ立派な人にしやうと、日夜に之れに心を碎き、幾多の苦勞を耐え忍んで、夫の事業を助けました、いつかも夫が官吏侮辱罪で入獄してゐた時などは、自ら新聞社の留守を預つて、會計など男の手を假らずに、自分が帳面をつけてゐました、此の習慣は今尚ほ連續して、時々日報社に行つたり、日々新聞社に行つたりして會計帳を檢査するので、其の帳簿にペンを執る人達は決して惡い事は出來ないのです、夫人は此のやうに細心な才彈けた方であります。

流石に中江兆民氏の門下生として、其の奇才を賞せられてゐた吉弘氏は、奇拔な計畫と突飛な趣向で新聞をこしらへ、大阪人の眼を驚かしました、吉弘氏は其後順風快潮で自分の事業を進めました、三新聞の持主となり、關西の新聞界に屈指の人となりました、吉弘氏が成功の榮冠は、年月夫人が流したいたましき涙の珠に輝いてゐることを忘れてはなりません。

吉弘氏は天才肌の人で、善く泣き、善く怒り、善く笑ふといふ感情の激しい人であります、其の事業を經營するに、社員を統御して殆んど賓師を待つやうに禮を盡くし義を盡くし、丁重を極めてゐますが其れでも感情の激しい人丈け、喜怒色に露れて社員も時に困ることもないではありません併し其の社員を慰めいたはり決して社長に不快の念を抱かせないやうにするのは、夫人がいつも心を配つてゐることです、其れで社員の生活に困つてゐるものには夫にかくれて其の懐をいためることは決して珍らしいことではありません夫人は之れを譬ふれば女俠客の姐御とでもいつたやうな氣前の方です。

夫人は今年四十五六になられたでしやう、脊のすらりと高い、着物は紋付など好く似合ふ方のやうに見受けられます、子達は七人位で、其の長女の政子さんは十三の歳富士登山したといふ活潑なお孃さんでもうお嫁入りのお歳ですがお父さんの熱情とお母さんの才氣を加味した美くしい方です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

避姙に關する思想の變遷

西川光次郎

新マルサス主義

賣淫、墮胎、花柳病などは、獨身者の増加、晩婚者の増加等に伴うて起る弊害である。此の弊害を除去する爲めには早婚を奬勵するより外に道がない。併し茲に早婚の實行を不可能ならしむる一大原因がある、ソレは外でもない、小供の出來ることである、故に若し人工的避姙法によりて思ふがまゝに産兒の數を制限することが出來ると、安心して早婚を實行することが出來る、而して其の結果として、以上の弊害を除去することの出來るばかりでなく、社會の經濟狀態を改善して、貧窮、犯罪等を無くすることが出來る、又從て人種の質を改善することも出來る。

新マルサス主義とは、要約して云へは以上の如きことを主張するものである。

英國では今より三十八年前に、チャレース、ブランドロー氏と、アンニー、ベザント夫人とがノルトン氏の哲學の果實を發行したのが、此の主義の同國で主張さるゝ始めである。尤も兩氏は此の書を發行した爲めに所罰さるゝに至つた。

又今より三十五年前に、英國マルサス協會の人々は避姙の方法を貧民の間に知らせようとして、小册子の配布を企てたが、僧侶の反對で中止せざるべからざるに至つた。

頑強なる反對

英國の醫者や僧侶は、此の主義の主張の始めに當りて、之れに對して頑強に反對したばかりでなく、爾

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

後引續き多年頑强に反對した、醫者が多年如何に頑强に之れに反對して來たかと云ふことは、千九百〇五年に英國醫事協會の西南支部にては

> 避姙法の實行は個人の上にも、國民の上にも大害あれば、之れに用ゆる藥物其他の販賣を禁止し、又之れに關する冊子の發行を禁止せざるべからず

と決議し、デボンポート支部も之れに倣うたのを以ても分る。

僧侶が多年如何に頑强に之れに反對して來たかと云ふことは、千九百〇八年にビショップの會議で、人工避姙の流行に反對する決議があつたのでも知れる。けれども、斯く醫師と宗教家が、多年頑强に反對せしにも係はらず、密に避姙法を實行するものが、非常な勢で增加した。千九百〇六年にフアビヤン協會が中流以上三百十六組の夫婦に避姙實行の有無を糺した所、其の中の二百四十二組は、產兒の制限を欲する爲めに避姙をして居ることを明言したソウである。

歐米各國に於ける醫學者の意見

ソレに英國の醫師とは違うて、和蘭の醫師などは、古くから

> 婦人が惡病の傳染を妨ぐのと同じ方法で、授胎を妨ぐことが出來る、而してソレは何んの害にもならぬ

と主張して居る。和蘭の最初の婦人醫學博士たるアレタ・エチ・ジヤコブスは千八百八十年より千八百九十八年に至るの間に、二千二百人の貧窮婦人に避姙の方法を敎へ、之れを實行せしめたが、彼女等の身體の上にソレが何んの害をも生ぜしめなんだとのとである。

獨逸に於て、性の問題の一權威たるオーガスト・フオレル博士は

> 避姙の方法を實行することは、啻に母體に害を與へざるのみならず、其の肉體及び精神に病あるものが、之を實行しないのは、惰慢である、罪惡である。

と主張し、氏と同意見の醫學者が頗ぶる多い。

米國紐育のロビンソン博士は

> 人種改善學の立場よりして、今日實行を欲する最

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も必要なことは(1)人をして其の敎養し與ふより以上の小供を持たしめざる樣、避姙の方法を敎授することと、(2)結婚に際し互に健康證明書を交換すること及び(3)狂者、常習犯、其他の惡病者を手術にて生殖不能者と爲すことの、三個の方法である。

と云ひ、又

避姙の方法を敎へたとて、婦人の胸にある母たらんとの本能は全然消滅するものでないから、自分の欲する丈けの子供は產むに相違ない。

と云ひ、更に又

貧民窟を巡回する醫師や看護婦に避姙の方法を敎へて、之れを貧民の母に敎へる必要がある

と云つて居る。

避姙實行の成績

尙ほ避姙實行の成績が、避姙を有害視する思想に大打擊を與へて來た。

佛國は最も避姙を實行して居る國であるが、之れが其の最大原因となつて、其の出產率は千七百八十一年に千分の三十八・九であつたものが、千九百〇一年には千分の二十一・二に落つるに至つた、けれども同じ期間に死亡率が千分の三十七より、千分の十九・六に落ち、又同じ期間に佛人の壽命は二倍となるに至つた。和蘭では政府は醫師に全然避姙の方法を敎ゆるの自由を與へ、貧民の間にまで、普ねく此の方法の實行される樣に骨を折つて居る。其の結果として出產率は落ちたがソレ以上に死亡率も落ちて、結句、人口は反て增加せるのみならず、之れが結果として和蘭人の體格が著しく改善さるゝに至つた。卽ち統計を見るに千八百六十五年より今日に至るまでの間に、和蘭人の身長は、五呎七吋以上のもの千分の二十四半より、千分の四十七半に增加し、五呎二吋半以下のもの千分の廿五より千分の八に落ちて居る。

ニユヂランドは佛蘭西や和蘭よりも、避姙法の實行が普及されてる所で、其の爲め此の國の出產率は世界で一番低いが、其の死亡率も亦た世界で一番低いので

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其の人口の増加は何國にも讓らない。

英國醫學社會及び僧侶の意見の變化

以上述べた如く英國にも既に避姙の實行者が多きに至つて居るのと、歐米各國の醫學社會が避姙に賛成するに至つて居るのと、及び避姙の實行の成績が善良なるのとが、頑强なる英國醫學社會の意見をも變化せしめ、彼等の中よりも近年避姙に賛成するものを續出するに至らしめて居る。

僧侶の中にも

新マルサス主義の實行が、貧窮、疾病、犯罪、不道德を防止する唯一の方法であるのだから、吾々キリスト敎徒も之れに賛成せねばならぬ。

と云ふものが、次第に増加するに至つて居る。

で今は、英國に於ても、避姙を不可とする論は破れて居るものと見ることが出來る。今後の問題は、既に智識階級が行うて居る此の方法を、ヨリ多く此の法の實行を必要とする貧民階級に敎へねばならぬと云ふにあるのである。

日本の識者も早く此の問題を研究して、澤山死んで澤山生めば、多少は生き殘らうと云ふ、不經濟なヨリ自然法から脱出して、少なく生んで、死なさぬ樣にし、更に立派に敎育すると云ふことにして、日本人種の質を改善すると、社會から貧窮、犯罪などを驅逐することに力を致さねばならぬ。

父母の誕生日に
何を爲すべきか

◎父母の死なれてから後も、其の誕生日を紀念したい。さて何を爲して紀念するのが、一番良いであらうか。

◎此の日に、亡き父母の友人を訪問するのもよいでしよう、又此の日に兄弟姉妹が集まつて昔を談るのもよいでしよう。

亡き娘の紀念に

◎亡き娘の紀念に、其の常に好んで遊んで居た所に木を植ゑた親があつた、やがて其の木は生長して、夏なぞは其所へ來て遊ぶ兒童に善き陰を與ふるに至つた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊紹介

▲**戀むすめ**（田村俊子氏著）　この人の作は婦人でなくては實感する事の出來ない、心理作用を深く細かに、女らしい筆でかゝれるのが特色であるが、これはその中でも特に娘といふ境遇にある人、女學校出の娘、文學好きの娘、創作家を慕ふ娘、町の娘、女優、藝者、さま〴〵の娘の戀こゝろのそゝろたつ頃がよく描寫されてある。短編十五六を集めたものであまり長いものはないが、書かれてある人物、何れもの性格氣分境遇がおもしろをかしい中に能く露出して居る。作中の人物と共通した境遇にある人、かうした年頃にある人が讀まれたら一層趣味深きことであらう。中でも學校時代には思ひ切つて解放されて居た娘が、卒業してからは、母親のきびしい監視を受ける事となつて、いら〳〵した心持ちになつた所を描いた『嫁ぐまで』や、一人の男の作家に二人の女がついて歩いて居て、急に別れて了ひたくなる『市の晩』や、其他町子の手紙、戀の手紙などが、わけておもしろい。いづれもしんみりした可愛らしいものばかりである。（定價九十錢、東京本郷區四丁目四十三牧民社發行）

▲**偉人の家庭**（榎本秋村氏著）　名將の家庭、富豪の家庭、帝王の家庭、愛國家の家庭、文豪の家庭、大政治家の家庭、學者の家庭、名婦の家庭の八章に分ちて、東西の偉人三十六人の私生涯を研究したものである、書中の一節に

モルトケはクライサウの閑地に在りて、其愛妻と共に樂しき月日を送りしが、旻天無情にも千八百六十八年十二月下旬此の愛妻の英魂を奪ひて空しく黃泉に去らしめぬ……彼は日夜斷腸の思に堪へざりしが、せめては其遺骸を風光佳麗なる地に葬むり、禮拜堂を建設して其靈を慰めんと自ら探索して適當の地を選みぬ。彼はクライサウの住宅より少しく距りたる一小丘の頂上に自ら設計して質素なる一個の堂宇を建立し、篤く愛妻の遺骸を葬りぬ……モルトケのクライサウにあるや、日每に愛妻の墳墓に詣で、若し公務の爲に伯林に留まりて歸宅せる際は何事を措きても最初に愛妻の墳墓に赴く事を例とせり。彼は常に帽子を戴かずして家を出で、家庭又は路傍の美しき花を手折りて愛妻の永眠せる柩上に飾り、暫し瞑目して往時の樂しかりし記憶を辿りぬ。

と云ふ所がある、實に面白い、丸で詩である。尤も中には研究が足らぬ樣に思はるゝ節がないではないが、ソレは欲を云へばのことで、私は實に此の書を面白く讀みました（定價八十錢、東京京橋南紺屋町十二實業の日本社）

▲**統計上より觀たる我邦婦人の暗黑面**（布川靜淵氏講演）　一ち一ち統計を擧げて『暗黑婦人の由來及其の增加の趨勢』『全國の風俗營業に關する婦人及營業所數』『藝妓酌婦及待合茶屋の現況』『娼妓及貸座敷の現況』『私娼即ち密賣婦の狀況一斑』『正妓以外の性事機關存在の影響』等を詳細したものである。布川先生は斯種の調査にかけては現今我國

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第一流の大家であると云はるゝが、ソウでしよう、實に行き届いたものです（丁酉倫理會倫理講演集大正三年四月刊所載別刷）

▲興味雜誌『奇』（第一號）

古今東西の奇と云ふ奇を集めたもので、類のない雜誌である。宮武外骨氏でなくては出來ぬ雜誌である（大阪府濟寺公園第三十八號宮武外骨氏發行、一部十五錢）

▲新式婦人化粧　遠藤はつ子 小口みち予　共著

みち子さんの筆になつた『新式婦人化粧』といふ本を見た、夾竹桃の花が雨に濕せた樣な表紙の地色に濃い空色の長細いわくが目立つ、そのなかにはメーテーリンク劇中の宮殿の奥庭の月夜にみさうな白孔雀が一羽長い尾をひいて後向きに立つてゐる、それが新裝の美人の樣に見える、內容は勿論理想的のものであるべき筈とはみち子さんを知つてゐるものには讀まなくてもわかるのである、へちまの花に（けつそん）と云ふ人みち子さんを許して曰く『黑人にしては少し野暮だが素人にしては大變意氣だ、そして別嬪ではないが一寸思ひつきのある女だ、是は一體何者だらう？少し怪しいやつだ、是が僕の小口みち子さんを初めてみた殺那の感じである』と、みち子さんの目前に何ごとも見あらはされるといふ恐れなしに立ち得る人には眞に麗質と云ふ讚詞を呈してよいと思ふ、多言はいらぬそれでみち子さんの其方の智識の豐富である事は明かでなければならない、是は學校制度にすれば少くも六ケ月卒業ぐらゐの筆記ものゝエッセンスにはなるといふ內容を、そのまゝに打まけてみせたといふのだから初めを見終りを見、中をのぞいて了解するやうな著述ではない、宜しく研究的の態度をもつて是に對すべしとでもいふべきものである、まづ女性の爲には六韜三略の巻とでも申さうか、中にはみち子さん式の文章が麗はしい色彩を處々に點じてゐる。

『室内はまだしも公園の木の間がくれ又は月光の下に露にうたれて立つ樣な時に煉白粉の塗りつぱなしと云ふ樣な化粧の仕方を致しますと石膏細工のお化のやうになつて終ひます』とか『春の氣候の時に衣服や其他あたりの物の調和の上からやゝ蒼味を帯びた化粧料を使つて見たい』とか『夏の氣候になつては色も柄も申分ない浴衣を着て涼しさうな輕さうな帶をお太鼓に結んで水髮か何かで輕さうなうすべつたい髷に形よくあげたたぼの下からすき透る襟首の地肌がちら〳〵見える光景云々』といふ樣な事が、湖水の月夜の樣な、氣もちのよい思ひを起させる、又眼については美しい眼をもつ事は美しい精神をもつ樣にするのが第一だといふ樣な事もあつた、ヒステリカルな表情が美くしい顏の型をさへゼロにする事を般若の面をひいて來て話してゐるのなどきはめたものである、さうして生理的心理的に論じてあるのが、ことに又女自身が否みち子さんが實驗の上から記いてゐるのが何よりの價値である、みち子さんは、けつして紺屋の白袴ではない、御畑の松の墨染の影に狸がもつと云ふ眞赤なうその提燈ではなくて、嫦娥の鏡を後にかけて先にたつ事然り。（あぐり）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人解放論の批評に就て

文子

五月の青鞜にて、らいてう、野枝兩氏が私の著「婦人解放論」を評された。例によつて何ものを評する時にも彼の人達の常用する、不徹底、不得要領、矛盾、無自覺と云ふ様な抽象的の文字が盛に列べてある。私は決して驚きはしない、境遇が違い、立場がかはれば議論の相異するのは自然だから。別に私はかの評の評を試みやうとは思はない。議論の當否は別としてやたらに讒辭を並べらるゝより、かうした評の方が著者自身に取つては、刺戟になり、發奮の種になり、どれ丈け有益であるか分らない。この點は深く感謝する。又私の著書を、エンマゴールドマンやエレンケイ女史の論文と同様の期待と希望とを以つて讀まれた事を感謝する、其の最初の期待の餘り大きかつた爲めに、失望されたのは止むを得ぬ事だが。現に兩氏も「無智と無學に久しい間馴らされて來た、今迄の日本婦人としてはお互に止むを得ない事だ」と云つて居らるゝ様に、私もそんなに一足飛には偉くなれない、然かし私の此著はゴールドマンやエレンケイを理想にして居らるゝ、兩氏の如き學者に讀んで貰たい爲めや、自己の學識のさうした婦人と同様だと云ふを誇る爲めに、したのでないことを断つておく。又此の著が小説や詩歌のやうに純自己を現はした、創作でないことは云ふまでもない。只議論はしてもつまらないから何も云はない。私がかの評を讀んでをかしくてならぬ事は、兩氏は低級な新聞記者の評には随分迷惑をさせられたとよくいひもし、つく〴〵感じてもゐながら、他人を評する場合には、やはり新聞や世評を概念として評されるのが如何にもをかしい。誰れでも自己には忠實であるが、他人の事となると、これほどに不忠實なものかと驚く。例へばらいてう氏は、切りに私を上手ものだとか、悧怜ものだとか、苦勞人らしいとか、世話女房とか常識的で何事も解つた様な(實はわからないが)などと云つて居らるゝ、私の經歴は一寸見ると形式はさも苦勞人らしく見え、外見は世話女房らしいかも知れないが、元來自我の勝ち過ぎた私は我儘を遂行した爲めに自然に酬ひられたもので、決して苦勞した覺えはない。又末つ子に生れて兩親に愛でられてばかり來た私は、今も仲々人の世話が出來ない、却つて世話ばかりやかして居る、從つて上手もの、悧怜ものでは断じてない。(雜誌經營の上から云つてもらいてう氏の方がはるかにお上手であらう)。たゞ私は兩氏の今たどりつゝある道を數年前にたどつたと云ふに過ぎない。で私から見ると兩氏の今の心理狀態はすつかり理解さるゝが、兩氏には私を理解することが出來ない、別社會のものの様に思はるゝのがそも〴〵の誤解である。こんな事はつまらない極些々な事であるが、こんな事でさへ、直接その人の性格を知らないと解らないのだから、議論などはとてもする氣になれない。つまり梯子段を上りつゝあるのと、上つたのと、自己に没頭して迷つて居るのと、やゝ解決して落ついたのとの立場の違ひである。野枝氏の「内

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

部生活に向つてより多く努力をしやうとして居るものである」と云はるゝのは尤もな事で、私も同感である。もつと〳〵勉強もし、研究もし、考へもしなければならぬと努力して居るが、たゞ外面の事を考へない、外部と没交渉にして居るのみが、内部生活だとは思はない。婦人とて孤立して居るものでない以上、自己を進むると共に、社會一般の思想をも進めたいと思ふ。又近來は往々強烈な深刻な、文字丈けを並べて、深刻がり眞面目がつて居る人があるが、其の實文學として文字の上での眞劍で、其の人に接して見ると、至極不眞面目不忠實淺薄な人である。私のかいたものが淺薄平凡に見えるのはそれは私自身の罪と云ふよりは、文字の足らぬ罪か、私に氣取ると云ふつくり氣のない爲めに、一言一句も忽にしないほど嚴密にしなかつた罪なので、只文字上の徹底や痛快なる議論を見やうとするにはもの足らぬかも知れない。眞實々々と云つて居る人の中に虚僞の人があり、平凡に見える人に偉大なる眞實がある。

私信數通

文子

▲平澤福子様より　御病氣と御案じ申しながら御たづねも致しませんで御許し下さい、私宅にも病人がありましたので失禮致しました

▲井上すみ子様より　餘り御不沙汰いたしまして申譯が御座いません、雜誌で拜見しましたら御不快の由早速御尋ね申上樣と思つては居りましたが、實行出來ませんでした。……私の豫言して居た事でしようと思ひます、それは御目出度いことで御座いましよう。

▲松尾大作様より　永々御無沙汰失禮のみ致して居りました、誠に相濟みません、又雜誌毎號頂戴致して有難とう御座います……貴女樣には御病氣との御事、何よりビックリ致しました、その後お變りも御座いませんか、一日も早く御全快あられん事を祈ります。又御良人樣にも御變りは御座いませんか。降つて私は私の生命、藝術に向ての力を生長させ樣と努力して居ますけれども、何にしろ周圍に種々の障害が御座いますので、田舍に愚圖々々して居ります、おそくとも六月までには是非上京致したいと思うて居ります、孰れその節は又相不變御願ひ申します。『新眞婦人』購讀の勸誘に隨分努めて居ます。

▲安部磯雄先生より　拜啓芝區愛宕山上の東京ホテルに滯在中なるハルシー夫人日を期して拜顏いたし度希望に御座候、同夫人は婦人問題を研究いたし居り候尚同夫人より直接手紙差上候由につき是非一度御面會下され度願上候（五月八日）

▲千原よし子様より　先日は不躾にも突然御伺ひ申上候處　早速御懇切なる御紹介頂きありがたくあつく御禮申上候……只今の處は例の婦人産業協會に御厄介に相成、行く〳〵は私の希望も達せられ候事に相成居候が只今の處何分にも創業早々の事とて全く多端を極め、當事務所もやう〳〵三日以前に引移り候次第、只今迄のらくら生活に引かへて急激な生活の變化に、早く御禮かた〳〵御報知申上げ度くと存じながらつひ失禮いたし候だん、何卒あしからず思召下され度御願申上候、いづれ近々中會の事につきても御助力仰ぎたく御伺申上候べく候間何分よろしく御願申上候。そして只今は中澁谷六八九地島氏宅に御厄介に相成居候へば精神上にも物質上にもまづ安心に御座候毎朝割引電車にて出勤午後は十一時頃歸宅いたし居候ともかく熱心努力いたし居り候へば憚りながら御心安おぼしめし給はりたく右亂筆亂文御禮かた〳〵申上候　早々

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第六回蛙聲會の記

大正三年五月十七日第六回蛙聲會を本郷區西片町にノ二高安先生方にて開く、田舍の畔道には本物？が本音を吐く時節柄、おまけに蛙に縁の深い雨迄がとつと音して降出た。

コノ字蛙が古川端の古巣を出たのは十七日の午后一時五分、又遲刻をするのだよと一寸悲觀して見たが危く出席か出來なかつた所だ、遲刻にしろ何にしろ既に出ると云ふ事が非常な幸福ではないか、氣にして居つた叔母蛙の中氣も思つい程の重病でないと云ふ嬉しい音信を聞いてそれと共に萬障がみんな去つて僅々三十分かそこいらの遲刻で出ることが出來る、遲刻を告める人もなからうが、あの字が時々いやな顔をするし、否しそうな心持ちがしてならぬ、云ひ譯は胸にあり、何か知らんけふは心持ちのよい日だ、あのお庭の新綠が雨にぬれて嘸一しほであらう、

等と思つて居る中に神田橋も知らぬ間に過ぎ萬世橋に來て終つた、ふと向ふを見るとお茶の水の方から下つて來る小さい舟が一つある、南畫の繪にあるやうな、蓑笠の船頭が二人で掉を取つて居る、何と云ふ豐かな自然な情趣であらう、萬世橋の上の電車の中から見る景物として勿體ない其船のあたりの雨だけが殊に細く煙つて居るやうに見えたのも床しかつた。

目標にして置いた竹柏會の軒燈を便りにして、琴のしらべが軒松を洩れてかすかに聞えて居るのを聞流しながら御案内を乞うた、お座敷には先着の方々がズラリ、横濱の添田夫人に初對面の挨拶をする、

話題は音樂のこと、詩の話、歌の話、宗教めいた又哲學めいた議論もちよい／＼出るには出ても、不思議とすぐにそれが詩になつたり劇になつたりして、いつものやうには肩が凝らない人間の靈の力の尊むべき所以をスの字さんが裏書きをして吳れた、音羽屋のお岩の芝居が凄かつた話も出た、明星のあの頃のことや、明治の梶の葉集を出さずに逝つて終つた閨秀作歌の身の上話も出た、人類の動物性、動物の狂暴性、盲にされた鶯の美聲、宇治の黃蘗で蝶の番の片破れを御馳走に頂戴をして終つた、緋鯉の身の上話やら、いつ迄も／＼興が盡なかつた。

やがて蓄音機が餘興に出る――、餘興と云ふと叱られるかも知れない――、音樂は餘興ではありませぬ、命懸けの藝術ですと、併し蓄音機を通して聞くのだから餘興の部類に入れて置きませう。

攝津大掾も出る、呂昇も出る、故人林中も出る、雲も出る、新内も出る、追分も出る、端唄も出る、長唄も出る、伊太利亞のオペラの女優のリロ、露西亞の唄ひ女の心臟をえぐられるやうな高聲タイホイゼルの一曲を聞き終ると、もう隣りに座つて居る人の皃が見えない迄にたそかれて終つた、お床の芍藥が七分の蕋を見せてほの白くうなだれて居たのに左樣ならをしておいとまを告げた、本郷の終點から文子さんは獨りぼつちになつて林町の家へ歸らるゝことになつた。

血色が勝れて居たのでヤレ／＼と思つたのに、ポツ／＼と氣分が惡くなりさうだ等と心細いことを云ひ出した、心懸りだけれども私にも用事があつて送つて行くことが出來ないので別れた。

あぐりさんは本鄉三丁目から上野へ、夢二さんの畫の中からぬけ出て來た淸子さんは、小川町で降りて終つた。

此日生憎の雨にも係らず出席者の多數であつたことを嬉しくおもひました、高安先生のお宅では大そうなお心盡しでお待ち受け下さつたことを深く／＼お禮を申上て置きます。

（其の日の翌日コノ字記）

出席者は左の通り、

鳥林、西川、三野村、岩崎、添田、井上、尾崎、平澤、御主人、伊藤、小口、

此日御主人の高安先生は、眞に滿目紅中の綠一點であらせられました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人

(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人

(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人

(4) 結婚の事

等の御相談に應じます。

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後六時過ぎに御出で下さい。

■本年三月生の兒をやりたいと云ふ方があります（委細、面談、姓名在社）

■教育ある中年の獨身婦人で、會社銀行其他へ通勤を希望して居る方があります（姓名在社）

■教育ある中年の獨身婦人で、家庭へ這入りたいと希望して居る方があります（姓名在社）

▲新眞婦人合本（一號より十二號まで）奇麗に製本が出來ました、御希望の方は、一圓お送り下さい

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一冊	（郵税共）	拾壹錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意 ●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割増

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正三年五月廿八日印刷納本
大正三年六月一日發行

發行兼編輯人及印刷人 本郷區駒込林町二〇六番地 西川文子

印刷所 本所區番場町四番地 凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込林町二百六番地 新眞婦人社 郵便振替貯金口座東京二二四五五六

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顔の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尚ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區
竹川町一二

理容館

電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

色白新劑

本劑は近時佛國パリス貴紳淑女間に最新流行の發明劑にして生來色黒き男女にても平素之を用ゆれば本劑の主成分たる皮膚漂白性作用により漸次肉體**白色**となり肌を滑にし皺を伸し**艶美**の容貌と奏しあれ及吹出物を治しなる卓効を有す世に種々雜多の色白藥を用ひて奇効なき人は速に本劑特製分貳劑を試よ偉大なる効完全に顯る價並製壹劑壹圓廿錢特別製壹劑貳圓貳拾錢

色白飮藥

英國倫人の全身清血劑にして飲んで體内の惡血毒血惡液を體外に排泄し血液を清淨にし完全に肉色を**白色艶美**ならしむる奇効顯著なる藥なり價壹劑貳圓九拾錢參劑七圓九拾錢五劑拾貳圓五拾錢色白新劑と内外双方併用せば偉大の奏効迅速に顯る着金即刻送藥す

腋臭治劑

本劑は腋臭症に對し最近の學理と實驗とにより研究發見せる**斯病唯一**の理想的卓効新藥にて本劑の作用により其病原たる汗腺を根底より變質せしむるを以て如何なる難症腋臭も完全に治癒す故に他藥にて全治せざる患者は早く試みよ**苦惱を脫**せよ難症は特別製を用ゆれば完全著効あり價並症用壹圓八拾錢重症用貳圓八拾錢慢性症用五圓八拾錢頑固症用特別製分拾圓八拾錢着金小包密送す

陰萎病 特効新藥

最新發見奇藥

本劑（藥名トニチン）は**唯一**の特効新劑にして最近發見に係る陰萎病其主治適應症を擧れば種々の原因より來る**陰萎病**生殖器障害。遺精。早漏。腎虛。夢精。元氣衰弱。萎縮症。快味感覺減少。發育不全。勃起力衰弱。不妊娠。精液欠乏。冷症。過淫手淫の害。記憶力思考力減退。不眠症。精神過勞等に卓越絶倫なる奇効あり苟も精力を旺盛にし生殖機能強健ならしめ人生の快樂を保全せんと欲する人は早く試よ的確偉大なる特効顯著なり藥價試用分壹劑貳圓輕症用五劑九圓五拾錢重症用八劑拾四圓五拾錢慢性症用拾參劑貳拾參圓也着金即刻小包密送す

閉止通經劑

本劑は胃腸を害せず子宮を痛めず月經とまりを迅速に**通經**せしめ及び血塊には特に**流經**し且つ月經不順より起る子宮病血の道を治癒し惡血古血を一掃す患者は早く試み卓絶偉大なる**特効**を知られよ近時無効類似偽藥多し御注意を乞ふ價は壹劑七拾錢貳劑壹圓廿錢參劑壹圓七拾錢特別製分貳圓廿錢頑固症用特製分四圓卅錢郵券代用貳割增し

婦人病の福音

本劑は最新の學理と多年の實驗とにより發見せられたる婦人病藥唯一の靈劑なるを以て頑固なる月經閉止及血塊抔と稱へ永年經水なきを快逆流下する月經は勿論月經不調に基因して續發すること逆上頭痛眩暈腰或は子宮に痛ある人腹子宮部の痙攣等に用ひ偉大なる卓効顯著なり早く試よ

毛生新藥

（奇効顯著藥）

本劑（藥名ヘアーグロース）は多年研究實驗の結果發見したる**毛髮速生藥**なり即ち男女共禿頭病の人各種の病氣にて脫毛する人頭髮及はえぎわの薄き人陰部毛なき人まゆげ口ひげの薄き人其他總て毛のあるべき所に毛なき人用ゆれば毛髮蒼々と**速生**する**特効**あり本劑は世にありふれたる種々雜多の毛はへ藥とは其効大に異なるに付幸に玉瓦混同視することなく速に試み卓絶偉大なる奇効を知られよ價小瓶壹圓廿錢中瓶二圓卅錢大瓶五圓卅錢特別製分拾圓卅錢着金即刻送藥す郵券代用必ず二割増しの事

やせる藥

本劑（藥名ヨードチリン錠）は學理實驗に徴したる唯一の**瘦身劑**にて血ぶとり。ふとり。酒ぶとり。あぶらぶとり。顏赤くほてりのある人の症。卒中症等總て肥滿質多血質脂肪過多質の人用ゆれば無害にして著しく體量を減じ脂肪を適度に脱し**美容健康**を保ち程よくやせる特効藥なりしたる諸君は速に本劑を用ひ其峻烈偉大なる卓効を知られよ

壹劑參圓卅錢貳劑六圓二十錢特別製九圓拾錢

以上七藥專賣

東京市神田區五軒町十九番地

日新館藥房

電話下谷五百四十六番
振替東京一九二[illegible]六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

リウマチス

▼全治

御望の方はハガキにて御症状を記し御申越あれば十數年不治とおあきらめなされたリウマチも實に驚く程よくナオル神秘靈劑……弊店家傳の秘藥を御知らせ致します御全快の皆樣から日々澤山の感謝狀を下されます

東京市淺草觀音仲見世天勇横町　井筒屋油店

電話下谷……三一一五番
振替口座一九六五二番

最も人にきらはれる わきが

の病に罹られたる御方又永年慢性わきがにて色々の治療を施されても治らずに苦まるゝ御方の爲めに不思議によくきく治療法を御知らせ致します御望みの御方は御遠慮なく只返信料三錢切手御送り下されば御知らせ致します

東京神田區錦町三ノ三　中村喜三郎

腦神經精神病

東京赤坂
帝國腦病院設
青山腦病院

院長 ドクトルメヂチーネ 齋藤紀一
醫學士三名
特長 田澤醫學士

電話芝二七四五
電話芝二六六五
電話芝三四〇六

タムシン

皮膚病一切
たむしの妙藥

東京市京橋區入舟町四丁目
本舖　橋本進世堂

●其愛兒のために

女兒には結婚費男子には修學費の爲めに、其の幼少の頃より心掛けてやらんと欲せらるゝ思慮深き親御樣達に最も確實にして且つ御便利なる御相談あり。

姓名在社

見!!!

本誌の立論は深遠正確且ツ内容ノ豐富ニシテ帝都政治雜誌中嶄然頭角ヲ拔ンデタル事世ノ既ニ認ムル處ロナルガ今回創刊一週年記念トシテ四六二倍ノ大版ニ改メ社會のアラユル問題ヲ以テ網羅セリ紳士且ツ青年諸君ノ必ズ繙イテ見ヨ

毎月一回
一日發行

壹部十八錢
郵稅壹錢五厘

壹ヶ年分壹圓八十錢
半ヶ年分九拾五錢

大正之日本

六月號

第二臨時議會と海軍補充問題……社説

論壇

大隈の使命……伯爵 大木遠吉
國防問題の解決と國民の大覺醒……陸軍大尉 西本國之輔
時事所感……伯爵 板垣退助
歴史上より見たる政治道德の腐敗……ドクトル 長瀬鳳輔

財政整理案所見……慶應大學教授法學博士 堀江歸一
經濟的軍備と軍制……陸軍步兵中佐 石藤市勝
勞働問題の根本解決……法學博士 鹽澤昌貞
蘭英二國の盛衰と海上競爭……文學博士 箕作元八
愛蘭自治問題……簡狂生
選擧權を擴張せよ……堀田磬一
軍備論……紅東生
友に與ふるの書……西川光次郎
隨感漫錄……快洋生
時事評論……素峰生
近來日本人の發展……上甲不怒生
大隈内閣の政綱……呑洲生
創刊一週年回顧錄……一記者
明治大學雄辯大會……芙蓉子

文苑

散ろ花……紅鑒
あじさい……無名子
讀者倶樂部
編輯局より

史談

ゴルチヤコフ公小傳……生田日旭東
現代浪人の妻の日記……一記者

申込所 東京市四谷區坂町八十番地 大日本青年黨本部

振替口座 東京二五九〇二

腦病精神病專門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

らい病

患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遲れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二 福田秋水

東京市京橋區南鍋町壹丁目四番地

ラヂウム專門療院

電話新橋參〇壹六番

院長 ドクトル従五位 渡邊鼎

わきが

治療好期

實驗の結果病勢の減退したる今時が最も治り易ひ直ちに治されよ

本院新研究自療法を數百名に實驗するに効顯的確全快の禮狀感謝狀續々來れり

同情に堪へず紹介し且新式わきが根本療法書無代呈す

東京本所中ノ郷元町三一（電話本所三三四二）東京新療院藥品部宛ハガキ申込め

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

立憲青年黨機關雜誌

世界之日本

（定價一部拾壹錢）　六月號　（一年分壹圓廿錢）

●大隈首相と語る（犬養眼中になし、政綱の堂々たるを見よ）…少壯政客

◎國民黨脫黨理由…高木正年

◎急進主義……横山雄偉

◎憤激錄……坂本正雄

●犬養過去暗黑史

▼高島炭坑勞働者虐待事件▼彼は犬畜生也

▼決闘申込まれて遁走す▼陰險卑陋醜劣の人

犬養征伐

○國民黨と犬養君（尾崎法相）○反省せよ（島田三郎）○犬養に說法する人を求む（三宅博士）○犬養は狐（富田幸次郎）○犬養局外觀（向教授）○與犬養（報知淺川）○非首領犬養（片桐大監）○犬養は政海の暗礁（小寺謙吉）○現下政局と犬養態度（浮田博士）○與木堂（永井教授）○噫憲政神（國民杉中）○僞醜惡犬養（黑須龍太郎）○時局と犬養（板垣伯）○犬養木堂論（山路愛山）○公人としての木堂（室伏高信）○駄目なる木堂（城本安太郎）○犬養の暗黑（武俠杉本）○彼の生命は死滅（吉田教授）○彼の前途は絕望（安部教授）○遺憾至極（黑岩周六）○犬養を葬れ（佐伯博士）

◎犬養征伐論▼何の國士ぞ▼彼は日本一の變節漢▼富豪の寄生虫…立憲青年黨幹事長 橋本徹馬

◎二大政黨論…齋藤隆夫

◎選擧權擴張論 青年黨幹事長 橋大河

◎諸家の犬養評を評す…蓬萊山人

●時勢の置去りを食ふ政治家……社說

發行所 東京市神田區仲猿樂町十七 世界之日本社 振替東京二六八六 電話本局五二一四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人文藝界の羅針盤

女子文壇

定價一冊拾五錢　第十卷六月號　一ヶ年分壹圓七拾四錢

▲新らしいものの發育の道……上司小劍
■國子へ其の夫より……川浪道三
●さはげる胸……江森笙子
▲階上の書齋より……水野葉舟
■閉されし窓に……草野ゆり子
●わかば……世良田優子
▲第一便（婦人に送る手紙）……高村光太郎
▲愛の冷熱……巖谷小波
▲聖フランシスの苦悶……宮澤六郎
■源氏物語 末摘花……日向きむ
▲僞『下』（アンドレエフ）……柴田勝衛譯
●八重さまへ……三ヶ島よし子
■生花の新運動■近代名作集■婦人の讀書室……

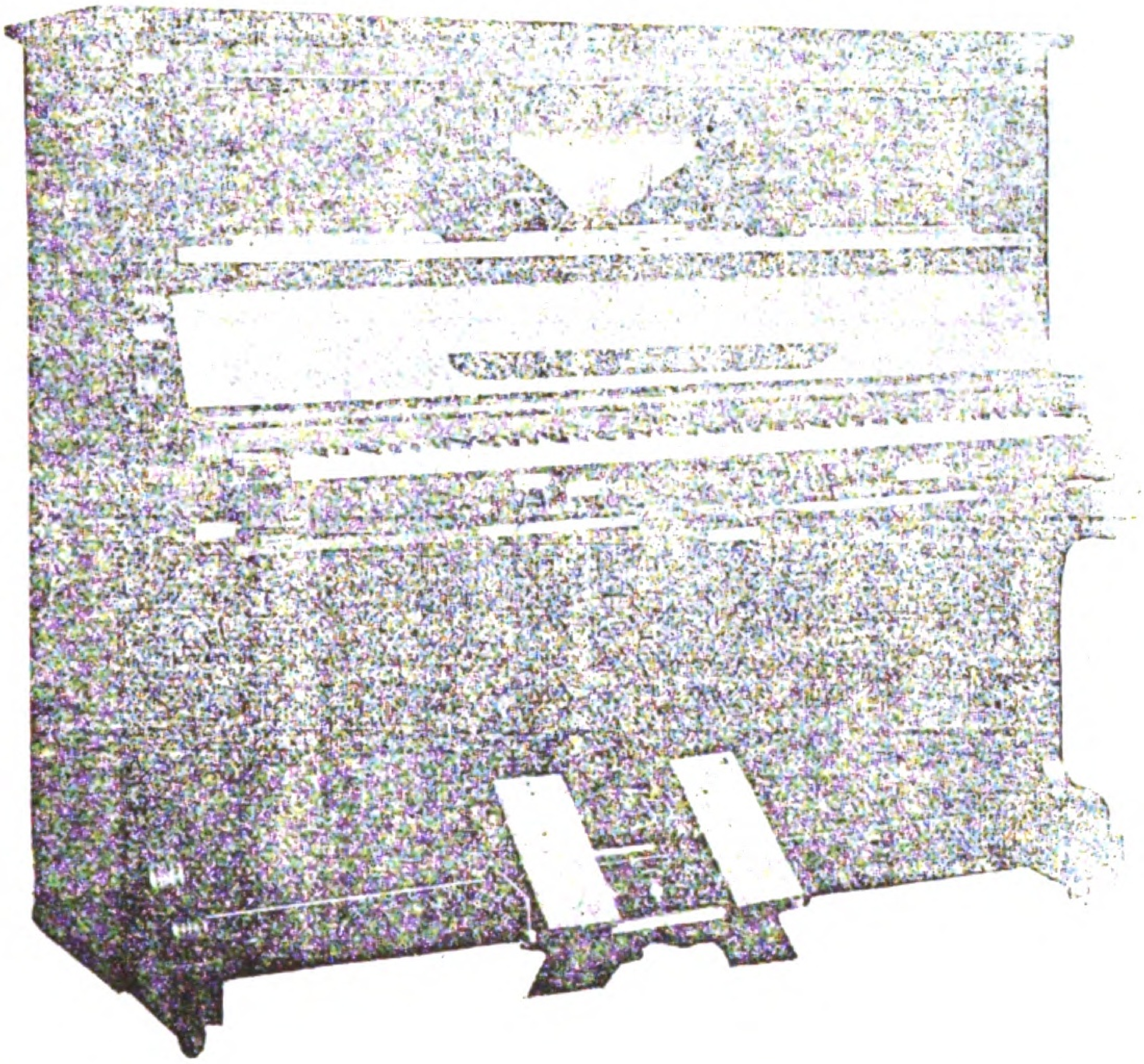
▲お待ちかねの大正二年一月一日より十二月三十一日までの

◎名流婦人日記

定價壹圓

全國到處の書店にあり

東京丸ノ內　婦人文藝社　電話本局三二九番



お試しを！

只で貸す自働ピアノ

弊社は常に音樂界に於て文明の魁となる事を欲し又それを實現して居ります五年の間苦心を重ねて『日本にも珍らしいピアニストがある』と米國人に間違はれた我最新式の自働ピアノが愈々市に出ましたから是れが紹介の爲めに貴顯紳士淑女の會合に對つて運賃參圓をお出し下さらば只でお貸し申しますから是非此際御試しの上御吹聽を戴きたう存じます

東京銀座 松本樂器合資會社
電話京橋二二九八番

新眞婦人各位に告ぐ

これは東京で一番よく賣れる美人となる化粧料ホーカー液です

夏の化粧は何と云ふてもホーカー液に限ります、本品が如何に品質善良にして效果の偉大なるかは其高評により其賣行により愛用各位の明かに證明せらるゝ所、實に本品は東京名物、世界唯一の高等美顏化粧料なることを茲に保證致します

●美人となるホーカー液はアレを防ぎキメを細かに色を白くツヤを麗はしくし子供衆を初め婦女子方の肌を丈夫にし、紳士方の剃刀まけを防ぎスベ〳〵とした美顏となります、朝な夕な本品を御使用あらばいろ〳〵の吹出物等を未然に防ぎ、顏の小ジワを防ぎ、美人は花の如く、老人は若返る樣其他種々の效果あり未だ御試用なき諸君は今スグ御試みあらんことを希ふ

●定價小二十錢中四十錢大八十錢送費四錢海外卅錢

到る處の勉强せらるゝ小間物店等に取次販賣す

壜の全景

郵發賣 箱入全景

小壜包の全景

美顏料ホーカー液 本舖

東京日本橋區馬喰町四丁目

堀越二八堂商店

振替東京二四一一八番

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正三年五月二十八日印刷納本
大正三年六月一日發行（毎月一回一日發行）

名流家庭の一日は朝のクラブ歯磨に始まる

家庭の向上と共に粗惡の安歯磨は次第に斥けられて品質最も優秀なる日本名物クラブ歯磨の家庭となる

此クラブ歯磨は
伏見宮家御用命
華頂宮家御用命
山階宮家御用命
竹田宮家御用命
の光榮ある歯磨

日本名物

クラブ白粉本店
クラブ洗粉本店
クラブ香油本店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA